

令和4年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の  
点検及び評価の結果に関する報告書

(令和3年度対象)

かすみがうら市教育委員会

## 目 次

### 第 1 章 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の概要

- 1 趣旨 . . . . . 1
- 2 点検・評価の対象 . . . . . 1
- 3 対象期間 . . . . . 1
- 4 点検評価の方法 . . . . . 1
- 5 令和 3 年度に教育委員会が実施した主な事務事業の点検 . . . . . 2

### 第 2 章 教育委員会の活動

- 1 教育委員会 . . . . . 7
- 2 教育委員会の開催状況 . . . . . 7
- 3 教育委員会での審議状況 . . . . . 8

### 第 3 章 点検及び評価結果

- 1 学校教育の充実 . . . . . 1 1
- 2 社会性豊かな青少年の健全育成 . . . . . 3 3
- 3 生涯学習の充実 . . . . . 4 1
- 4 地域文化の継承と創造 . . . . . 5 7
- 5 市民活動の支援 . . . . . 6 5

### 第 4 章 学識経験者からの意見

- 1 学校教育課に対する意見 . . . . . 6 7
- 2 生涯学習課に対する意見 . . . . . 6 7
- 3 スポーツ振興課に対する意見 . . . . . 6 7
- 4 点検結果 . . . . . 6 7

## 第1章 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の概要

### 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表するものです。

#### 〔地方教育行政の組織及び運営に関する法律〕

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 点検・評価の対象

点検・評価を行う事務事業は、教育委員会が所管している事業（事務委任等も含む）のうち、第2次かすみがうら市総合計画に掲げられた、市教育委員会が所管する施策を対象に点検及び評価の対象としました。

### 3 対象期間

令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日

### 4 点検評価の方法

点検評価の方法については、第2次かすみがうら市総合計画を基に、自己点検評価書類を纏め、自己点検評価を行いました。

その後、かすみがうら市教育委員会事務点検評価委員から、自己点検評価の結果について、ご意見・ご助言をいただきました。

#### (1) かすみがうら市教育委員会事務点検評価委員（五十音順、敬称略）

岩瀬 哲夫

貝塚 久美子

服部 正彦

#### (2) 事務の点検評価の日程

令和4年10月 4日（火） 教育委員会事務点検・評価会議（第1回目）

令和4年10月24日（月） 教育委員会事務点検・評価会議（第2回目）

令和4年11月 1日（火） 教育委員会事務点検・評価会議（第3回目）

5 令和3年度に教育委員会が実施した主な事務事業の点検

No.	総合計画 施策の方向	主な関係事業名	担当課・担当
1	教育環境の計画的な整備推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校施設維持管理事業</li> <li>・千代田中学校区統合小学校環境整備事業（政策）</li> <li>・中学校施設維持管理事業</li> <li>・下稲吉中学校施設整備事業（政策）</li> </ul>	学校教育課 ・教育施設担当
2	教育環境の計画的な整備推進 特色ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区審議会設置事業</li> <li>・学校統合推進事業（政策）</li> </ul>	学校教育課 ・学校教育担当 ・教育指導室
3	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校コンピューター設置事業（政策）</li> <li>・中学校コンピューター設置事業（政策）</li> </ul>	学校教育課 ・学校教育担当
4	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校図書室運営事業（政策）</li> <li>・中学校図書室運営事業（政策）</li> </ul>	学校教育課 ・学校教育担当
5	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校保健事業</li> <li>・小学校児童安全推進事業</li> <li>・中学校保健事業</li> <li>・中学校生徒安全推進事業</li> </ul>	学校教育課 ・学校教育担当
6	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校管理運営事業</li> <li>・小学校管理運営事業（政策）</li> <li>・小学校教材備品整備事業（政策）</li> <li>・中学校管理運営事業</li> <li>・中学校管理運営事業（政策）</li> <li>・中学校教材備品整備事業（政策）</li> </ul>	学校教育課 ・学校教育担当 ・教育施設担当
7	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校給食管理運営事業</li> <li>・小学校給食管理運営事業（政策）</li> <li>・中学校給食管理運営事業</li> <li>・中学校給食管理運営事業（政策）</li> </ul>	学校教育課 ・学校教育担当 ・教育施設担当
8	教育内容の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会運営事業</li> <li>・教育委員会事務局運営事業</li> </ul>	学校教育課 ・総務担当

No.	総合計画 施策の方向	主な関係事業名	担当課・担当
9	教育内容の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育指導事業</li> <li>・教育指導事業（政策）</li> <li>・指導主事設置事業</li> <li>・指導主事設置事業（政策）</li> <li>・英語指導助手設置事業（政策）</li> <li>・教育推進団体設置事業</li> <li>・教育推進団体設置事業（政策）</li> <li>・中学校部活動支援事業</li> <li>・中学校部活動支援事業（政策）</li> <li>・小学校教育振興事業（政策）</li> <li>・中学校教育振興事業（政策）</li> </ul>	学校教育課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育担当</li> <li>・教育指導室</li> </ul>
10	教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援委員会設置事業</li> <li>・学校支援員設置事業（政策）</li> <li>・教育相談事業</li> <li>・教育相談事業（政策）</li> <li>・小学校就学支援事業</li> <li>・中学校就学支援事業</li> </ul>	学校教育課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育担当</li> <li>・教育指導室</li> </ul>
11	子どもミライプロジェクトの展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもミライ学習事業（政策）</li> </ul>	学校教育課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育指導室</li> </ul>
12	青少年健全育成活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成事業</li> <li>・青少年育成事業（政策）</li> <li>・学校家庭地域の連携協力推進事業（政策）</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育担当</li> </ul>
13	青少年の健全育成と体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成事業</li> <li>・青少年育成事業（政策）</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育担当</li> </ul>
14	地域の担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成事業（政策）</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育担当</li> </ul>
15	生涯学習推進体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進事業</li> <li>・公民館運営審議会運営事業</li> <li>・図書館運営事業</li> <li>・歴史博物館管理運営事業</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育担当</li> <li>・霞ヶ浦中地区公民館</li> <li>・千代田中地区公民館</li> <li>・下稲吉中地区公民館</li> <li>・図書館</li> <li>・歴史博物館</li> </ul>

No.	総合計画 施策の方向	主な関係事業名	担当課・担当
16	生涯学習機会の提供と 生涯学習団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進事業（政策）</li> <li>・女性団体行政事業</li> <li>・生涯学習市民協働事業（政策）</li> <li>・霞ヶ浦中地区公民館講座事業（政策）</li> <li>・千代田中地区公民館講座事業（政策）</li> <li>・下稲吉中地区公民館講座事業（政策）</li> <li>・文化芸術振興事業（政策）</li> <li>・歴史博物館管理運営事業</li> <li>・歴史博物館管理運営事業（政策）</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育担当</li> <li>・霞ヶ浦中地区公民館</li> <li>・千代田中地区公民館</li> <li>・下稲吉中地区公民館</li> <li>・文化振興担当</li> <li>・歴史博物館</li> </ul>
17	生涯学習施設の整備充 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧地区公民館管理事業</li> <li>・千代田公民館管理事業</li> <li>・図書館運営事業</li> <li>・図書館運営事業（政策）</li> <li>・蔵書整備事業</li> <li>・蔵書整備事業（政策）</li> <li>・ブックスタート事業（政策）</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・霞ヶ浦中地区公民館</li> <li>・千代田中地区公民館</li> <li>・下稲吉中地区公民館</li> <li>・図書館</li> </ul>
18	生涯学習情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習情報提供事業（政策）</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育担当</li> </ul>
19	スポーツ・レクリエー ション活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かすみがうらマラソン大会開催事業（政策）</li> <li>・市民ふれあいスポーツ推進事業</li> <li>・市民ふれあいスポーツ推進事業（政策）</li> </ul>	スポーツ振興課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興担当</li> </ul>
20	スポーツ・レクリエー ション施設の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育センター管理運営事業</li> <li>・わかぐり運動公園管理運営事業</li> <li>・多目的運動広場管理運営事業</li> <li>・戸沢公園運動広場管理運営事業</li> <li>・第1常陸野公園管理運営事業</li> <li>・体育センター管理運営事業（政策）</li> <li>・（仮称）スポーツ公園管理運営事業</li> </ul>	スポーツ振興課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興担当</li> <li>・施設維持管理担当</li> </ul>
21	スポーツ・レクリエー ション団体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ団体育成事業</li> <li>・スポーツ団体育成事業（政策）</li> </ul>	スポーツ振興課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興担当</li> </ul>

No.	総合計画 施策の方向	主な関係事業名	担当課・担当
2 2	文化財などの伝承と保護・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士見塚古墳公園管理運営事業</li> <li>・文化財保護事業</li> <li>・文化財保護事業（政策）</li> <li>・埋蔵文化財事業</li> <li>・帆引き船保存活用対策事業（政策）</li> <li>・歴史博物館管理運営事業</li> <li>・歴史博物館管理運営事業（政策）</li> <li>・ジオパーク推進事業（政策）</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化振興担当</li> <li>・歴史博物館</li> </ul>
2 3	ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史博物館管理運営事業</li> <li>・歴史博物館管理運営事業（政策）</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史博物館</li> </ul>
2 4	芸術・文化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術振興事業（政策）</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育担当</li> </ul>
2 5	観光との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士見塚古墳公園管理運営事業</li> <li>・歴史博物館管理運営事業</li> <li>・歴史博物館管理運営事業（政策）</li> <li>・ジオパーク推進事業（政策）</li> <li>・帆引き船保存活用対策事業（政策）</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化振興担当</li> <li>・歴史博物館</li> </ul>
2 6	コミュニティ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・霞ヶ浦中地区公民館コミュニティ活動事業（政策）</li> <li>・千代田中地区公民館コミュニティ活動事業（政策）</li> <li>・下稻吉中地区公民館コミュニティ活動事業（政策）</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・霞ヶ浦中地区公民館</li> <li>・千代田中地区公民館</li> <li>・下稻吉中地区公民館</li> </ul>



## 第2章 教育委員会の活動

### 1 教育委員会

地方公共団体が、教育・学術・文化に関する事務を行う場合は、その性質上、政治的中立を維持すること、行政が安定していること、住民の意思を反映することが求められます。かすみがうら市教育委員会は、教育長と4人の委員で組織され、教育についての方針・施策は、この教育委員会での合議によって決められており、学校の組織編制、教育課程、教科書、その他の教材の取扱い、および教育職員の身分取扱いに関する事務を取り扱うとともに、社会教育やその他教育、学術および文化に関する事務を管理し執行します。

(教育委員会構成 令和4年3月31日現在)

職名	氏名	任期	期数
教育長	大山 隆雄	令和3年6月25日就任 令和6年6月24日満了	4期目
委員 (教育長職務代理者)	田澤 高保	平成30年10月1日就任 令和4年9月30日満了	2期目
委員	中島 和彦	令和2年6月25日就任 令和6年6月24日満了	5期目
委員	坂本 雅子	令和3年6月25日就任 令和7年6月24日満了	2期目
委員	梶本 梓	令和元年6月25日就任 令和5年6月24日満了	1期目

### 2 教育委員会の開催状況

合議制の執行機関である教育委員会の会議においては、かすみがうら市教育委員会の教育長に対する事務委任規則第2条各号に掲げる事務や、特に協議を要する事項について、審議し、決定するものであり、その他は教育長に委任し処理させています。

教育委員会の会議には、定例会と臨時会があり、定例会は毎月開催し、臨時会は必要に応じて招集し開催しています。

- (1) 定例会        12回 (毎月1回)
- (2) 臨時会        1回 (3月)

### 3 教育委員会での審議状況

#### (1) 令和3年度 教育委員会会議 審議内容

開催	期日	番号	件名
5月定例会	5月18日	報告第5号	かすみがうら市図書館協議会委員の委嘱について
5月定例会	5月18日	議案第13号	かすみがうら市教育支援委員会委員の委嘱について
5月定例会	5月18日	議案第14号	議案に係る意見聴取について ・千代田地区学校統合及び市立小中学校一貫教育完全実施に伴う関係条例の整理に関する条例
5月定例会	5月18日	議案第15号	千代田地区学校統合及び市立小中学校一貫教育完全実施に伴う関係規則の整理に関する規則について
5月定例会	5月18日	議案第16号	千代田地区学校統合及び市立小中学校一貫教育完全実施に伴う関係訓令の整理に関する訓令について
5月定例会	5月18日	議案第17号	かすみがうら市スクールバス運行規程の一部を改正する告示について
5月定例会	5月18日	議案第18号	かすみがうら市教育振興基本計画策定委員会設置要綱について
6月定例会	6月23日	報告第6号	かすみがうら市公民館運営審議会委員の委嘱について
6月定例会	6月23日	報告第7号	かすみがうら市社会教育委員の委嘱について
6月定例会	6月23日	報告第8号	かすみがうら市学区審議会委員の解嘱及び委嘱について
7月定例会	7月29日	議案第19号	令和4年度使用教科用図書採択について
8月定例会	8月19日	議案第20号	かすみがうら市いじめ問題等対策委員会委員の委嘱について
8月定例会	8月19日	議案第21号	かすみがうら市学齢児童生徒の就学すべき学校指定に関する規則の一部を改正する規則について
8月定例会	8月19日	議案第22号	議案に係る意見聴取について ・令和3年度かすみがうら市一般会計補正予算（第6号）について
8月定例会	8月19日	議案第23号	議案に係る意見聴取について ・令和2年度かすみがうら市一般会計歳入歳出決算の認定について

開 催	期 日	番 号	件 名
9月 定例会	9月29日	議案第24号	かすみがうら市立学校管理規則の一部を改正する規則について
11月 定例会	11月18日	報告第9号	かすみがうら市学区審議会委員の委嘱について
11月 定例会	11月18日	議案第25号	令和3年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について（令和2年度対象）
1月 定例会	1月26日	議案第1号	かすみがうら市教育振興基本計画の策定について
2月 定例会	2月22日	議案第2号	議案に係る意見聴取について ・かすみがうら市公の施設の広域利用に関する条例
2月 定例会	2月22日	議案第3号	議案に係る意見聴取について ・かすみがうら市体育施設条例の一部を改正する条例
2月 定例会	2月22日	議案第4号	かすみがうら市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則
2月 定例会	2月22日	議案第5号	議案に係る意見聴取について ・令和3年度かすみがうら市一般会計補正予算（第11号）について
2月 定例会	2月22日	議案第6号	議案に係る意見聴取について ・令和4年度かすみがうら市一般会計予算について
2月 定例会	2月22日	議案第7号	かすみがうら市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則
2月 定例会	2月22日	議案第8号	令和4年度かすみがうら市学校教育指導方針の策定について
3月 臨時会	3月16日	議案第9号	令和4年度教職員人事異動の内申について
3月 定例会	3月30日	議案第10号	かすみがうら市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
3月 定例会	3月30日	議案第11号	かすみがうら市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する訓令について
3月 定例会	3月30日	議案第12号	かすみがうら市立学校処務規程の一部を改正する訓令について
3月 定例会	3月30日	議案第13号	かすみがうら市教育委員会規則で定める申請書等の押印等の特例に関する規則について
3月 定例会	3月30日	議案第14号	かすみがうら市教育委員会告示で定める申請書等の押印等の特例に関する告示について

開 催	期 日	番 号	件 名
3月 定例会	3月30日	議案第15号	かすみがうら市教育委員会訓令で定める申請書等の押印等の特例に関する訓令について
3月 定例会	3月30日	議案第16号	かすみがうら市立学校施設開放規則の一部を改正する規則について
3月 定例会	3月30日	議案第17号	かすみがうら市立小中義務教育学校学校医等の解嘱及び委嘱について
3月 定例会	3月30日	議案第18号	かすみがうら市学校運営協力員の委嘱について
3月 定例会	3月30日	議案第19号	かすみがうら市教育委員会事務局職員人事異動について

○報告件数        5件

○議案件数        32件

### 第3章 点検及び評価結果

#### 1 学校教育の充実

No. 1	施策の方向	教育環境の計画的な整備推進		担当課・係
				学校教育課 ・教育施設担当
施策の内容	かすみがうら市小中学校の適正規模化実施計画（統廃合計画）及び小中学校施設長寿命化計画（個別計画）をもとに施設ごとの課題を検討し、計画的な整備・充実を図ります。			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・小学校施設維持管理事業	54,152千円	48,125千円	
	・千代田中学校区統合小学校環境整備事業（政策）	1,514,258千円	-	
	・中学校施設維持管理事業	33,444千円	26,919千円	
	・下稲吉中学校施設整備事業（政策）	30,736千円	487,138千円	
【令和3年度取組内容】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校施設維持管理事業 各学校施設における経常的な維持管理業務を行うとともに、給食運営の環境対策として配膳室に空調設備を整備した。</li> <li>・千代田中学校区統合小学校環境整備事業（政策） （仮称）千代田中学校区義務教育学校の整備工事（Ⅱ期工事）を行った。</li> <li>・下稲吉中学校施設整備事業（政策） 下稲吉中学校屋内運動場新築工事に向けて、実施設計を行った。</li> </ul>				
【課題・今後の対応】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・下稲吉中学校施設整備事業（政策） 下稲吉中学校屋内運動場新築工事 令和3年度に実施設計が完了し、現在（令和4年度）建設工事に移行している。これまで手狭だった体育館や老朽化の激しい武道場の改善に向けて、作業は順調である。</li> </ul>				
【目標達成状況の内部評価】				
<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった <input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった				
【その他】				
【点検・評価委員の意見】				
●千代田中学校区義務教育学校（R04.04 開校：千代田義務教育学校）の工事が順調に進				

み、整備されたことは評価できる。開校後も、児童生徒及び教職員のニーズに沿った設備の充実に努められたい。

- 下稲吉中学校屋内運動場新築工事に向けて実施設計が進められたが、令和4年8月の着工後、スポーツ設備や避難所設備がより充実した施設となることを期待する。また、その敷地は借地ではなく買取へと努力したことは評価できる。
- 給食運営の環境対策として全小中学校の配膳室に空調設備を整備したことは、安全安心な給食を児童生徒に提供することにもつながり評価できる。
- 今後も学校施設については、学校間で施設機能に格差が生じないように、また、防災拠点機能等も考慮しながら、計画的に整備を図って頂きたい。温暖化の傾向に鑑み、避難所の機能も有する屋内運動場へのエアコン等の設置についても災害対応部局との調整を図り検討頂きたい。
- 統合により廃校となった小学校施設（普通財産）については、市長部局において早期に跡地利用を進め、維持管理費用の削減に努めて頂きたい。

No. 2	施策の方向	教育環境の計画的な整備推進 特色ある学校づくり		担当課・係
				学校教育課 ・学校教育担当 ・教育指導室
施策の内容	児童生徒数の減少に伴い、教育環境を改善するため学校の統廃合を推進します。また、千代田義務教育学校を特色ある学校として整備を進めます。			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・学区審議会設置事業 ・学校統合推進事業（政策）	0千円 12,515千円	120千円 10,798千円	
<b>【令和3年度取組内容】</b> ・学区審議会設置事業 未実施 ・学校統合推進事業（政策） 児童の学校生活支援のため、霞ヶ浦地区の統合小学校（霞ヶ浦北・南小学校）へTT非常勤講師を各校1名継続して配置した。 千代田義務教育学校開校に向けて、校章・制服及び体操服・スクールバス運行ルートを決めるとともに、引越業務などの各種業務委託、校旗やステージ幕などの必要な物品購入等を行った。				
<b>【課題・今後の対応】</b> ・学区審議会設置事業 市小中学校適正規模化実施計画を踏まえ、必要に応じて開催を検討する。 ・学校統合推進事業（政策） 令和4年4月に開校した千代田義務教育学校の開校式典（5月）を実施する。 小中学校適正規模化実施計画に基づく学校統合は令和3年度をもって一区切りのところまで進んだが、引き続き統合校の円滑な運営や教育環境の充実を図っていく必要がある。				
<b>【目標達成状況の内部評価】</b> <input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった <input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった				
<b>【その他】</b>				
<b>【点検・評価委員の意見】</b> ●小中学校適正規模化実施計画に基づき、計画通り5つの小中学校統合を令和3年度中に完了し、無事に令和4年度の千代田義務教育学校開校へ至ったことについては評価できる。尽力された開校準備委員会や運営検討委員会、職員など関係者の方々の努力に				

敬意を表したい。

- 市内初の施設一体型の小中一貫校である千代田義務教育学校が、児童生徒にとって充実した9年間の学校生活を過ごす場となり、また、小規模特認校として特色ある教育活動を活発に展開し、誇りに思える学校となるよう学校運営に努めて頂きたい。
- 霞ヶ浦地区の統合小学校（霞ヶ浦北・南小学校）へのTT非常勤講師の継続配置は、下校のスクールバス待機時などの児童1・2年生に対する実情に即した指導や学力向上にも資するため評価できる。今後も、令和4年度に開校した千代田義務教育学校を含め、ニーズに応じた配置を継続されたい。また、法改正に沿った医療的ケア児対応看護師の配置等も検討して頂きたい。
- 市内においては一部地域での過疎化も懸念される場所であるので、児童・生徒数の維持・増加のため、総合教育会議や学区審議会の意見を踏まえつつ、義務教育学校で得た知見等も活用して各種施策を立案・実施されたい。また、全ての学校において、特色ある学校づくりを目指すとともに、小中学校間の円滑な接続等を進めて頂きたい。

No. 3	施策の方向	教育環境の充実	担当課・係	
			学校教育課 ・学校教育担当	
施策の内容	I C T機器を計画的に更新し、デジタル教科書の導入を行うとともに、活用技能の向上を図ります。			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・小学校コンピューター設置事業（政策）	22,536千円	25,874千円	
	・中学校コンピューター設置事業（政策）	12,159千円	8,064千円	
<p><b>【令和3年度取組内容】</b></p> <p>・小中学校コンピューター設置事業（政策）</p> <p>各学校のコンピューター室（又はパソコン教室）に設置している児童生徒用及び教師用のタブレットパソコン（Windows）、学校用サーバーの維持管理を行った。</p> <p>1人1台タブレット端末（Chromebook）については、各種授業に活用したほか、コロナ禍における一斉休校時などに自宅へ持ち帰りオンライン授業に活用するなど、情報化社会への対応及び学習意欲の向上を図った。</p>				
<p><b>【課題・今後の対応】</b></p> <p>コロナ禍により新しい生活様式が求められる中、自宅でのオンライン授業体制を含め、より効果的にI C Tを活用した授業の運用が不可欠となっている。</p> <p>1人1台タブレット端末（Chromebook）が配備されたことで、より一層の教育のデジタル化が期待されているため、周辺機器を充実させる必要がある。</p> <p>また、小中一貫教育の特色を生かした系統的・継続的な教育に取り組み、新しい時代への対応を可能とする教育環境のさらなる充実を進めていくことが必要である。</p>				
<p><b>【目標達成状況の内部評価】</b></p> <p><input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった</p> <p><input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった</p>				
<p><b>【その他】</b></p>				
<p><b>【点検・評価委員の意見】</b></p> <p>● 1人1台タブレット端末が各種授業に活用され、協働的な学びの広がりや学習意欲の向上につながっていると評価できる。</p> <p>● I C T機器の活用は、オンライン授業も含め、学力向上はもとより、コロナ禍や長期欠席に伴う児童生徒の学習の遅れへの対処にも有効である。今後も、一層の展開（観察、英会話、音楽、美術、体育、プレゼンテーション、プログラミングなど）や、情報モラルを含めた総合的な情報活用能力が育つようI C T機器の計画的整備を図られることに期待する。また、外部講師等の派遣や教職員の研修等の充実により、デジタル教科書の有効活用を含めI C T教育に係る質の向上を図って頂きたい。</p>				

No. 4	施策の方向	教育環境の充実	担当課・係	
			学校教育課 ・学校教育担当	
施策の内容	学校図書館蔵書の整備と司書の配置により読書意欲向上につながる環境の整備に努めます。			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・小学校図書室運営事業（政策）	4,482千円	4,401千円	
	・中学校図書室運営事業（政策）	6,998千円	7,453千円	
<p>【令和3年度取組内容】</p> <p>・小中学校図書室運営事業（政策）</p> <p>学校図書室の蔵書の充実を図るため、図書を継続的に追加購入。また、図書の振興及び児童の読書意欲の向上に資する目的で、各中学校及び霞ヶ浦南小学校を拠点校として図書館司書4名を配置し、各小学校へも派遣している。</p> <p>統合予定の千代田中学校区の小学校を除き、蔵書管理システムを活用し、利便性のある環境を整備。図書館司書を中心に市立図書館の蔵書の活用を推進した。</p>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <p>千代田義務教育学校の開校に伴う引越作業後の蔵書整理が必要であり、図書環境整備の早期完了を目指す。</p> <p>蔵書管理システムを活用し、限られた予算の中でより学習・教育に役立つ図書の選定・購入に努め、配置する図書の均一化と有効活用を図り、蔵書の適正管理を進める。</p> <p>市内図書館との連携強化や蔵書管理システムの更新を検討する必要がある。</p>				
<p>【目標達成状況の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった</p> <p><input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった</p>				
<p>【その他】</p>				
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <p>●蔵書の整理や児童生徒の読書意欲につながる環境を整え、継続して高い年間図書室利用率（小学校が97.66%、中学校93.77%）を維持していることは評価できる。</p> <p>●現在は全体で4名配置となっている図書館司書が、全7校に配置されることを期待するとともに、図書館司書の情報交換や研修の場を含め、学校配置の各司書や市立図書館、県立図書館等との連携強化を図り、今後も高い利用率を維持・向上するよう努めて頂きたい。</p> <p>●国が定める学校図書の充足率が低い中学校においては、早急に基準値まで高めるとともに、小・中学校間での格差が生じないよう配置図書の均一化も進めて頂きたい。</p>				

●読書は学びの基礎であることから学校図書室環境がさらに充実することを望む。また、児童生徒が他の学校図書や市立図書館図書等も予約して借りられるような蔵書管理システムの構築や連携も検討願いたい。

No. 5	施策の方向	教育環境の充実	担当課・係	
			学校教育課 ・学校教育担当	
施策の内容		児童生徒の健康管理の指導や安全確保に努めます。		
事業名 及び 事業費	事業名		令和3年度決算額	令和4年度予算額
	・小学校保健事業		6,422千円	6,136千円
	・小学校児童安全推進事業		2,410千円	2,029千円
	・中学校保健事業		3,278千円	3,391千円
	・中学校生徒安全推進事業		1,466千円	1,282千円
【令和3年度取組内容】				
<p>・小中学校保健事業</p> <p>児童生徒の健康の維持及び確保を目的に、各校に学校医（内科医・眼科医・歯科医・薬剤師）を配置し、就学児の健康診断並びに在学児・在学生の健康診断と健康管理を実施した。</p> <p>また、学校保健委員会（校医・教職員・PTAなど）を組織し、体力測定や健康診断の結果などの検証を実施した。</p> <p>コロナ禍への対応として、各校に手指消毒用の消毒液の配布・設置をし、また、体温チェックアプリで児童生徒一人ひとりの日々の体温・体調確認を行うとともに、全クラス設置済みの非接触型体温計及び接触型体温計等で体調を管理した。また、児童生徒用の机上へパーティションの設置を行うなど、給食時を含む学校生活全般において、感染拡大防止に努めた。</p>				
<p>・小中学校児童生徒安全推進事業</p> <p>学校生活における活動や登下校時の事故及び怪我などの対応や安全の確保を目的に、日本スポーツ振興センター災害共済への加入促進、自動体外式除細動器（AED）の校内への継続設置等を実施した。</p> <p>また、学校生活における登下校時の事故及び怪我防止のため、自転車通学生徒用ヘルメットの購入補助を実施した。</p>				
【課題・今後の対応】				
<p>・小中学校保健事業</p> <p>新型コロナを含む感染症のクラスター対策として、日頃より教職員や保護者と協力しながら児童生徒への感染予防や拡大防止などの取り組みを継続的に実施する必要がある。併せて、感染予防対策に係る設備、備品、消耗品等の環境対策の充実を図る。</p>				
<p>・小中学校児童生徒安全推進事業</p> <p>AEDの継続設置と併せて、操作研修も継続的に実施する必要がある。</p>				
【目標達成状況の内部評価】				
<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた				

C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった

D. 目標とする成果が得られなかった

**【その他】**

**【点検・評価委員の意見】**

- コロナ禍における対応として、学校内でのクラスター発生を予防できたことなど、感染拡大防止の対策が適切であったと評価できる。今後も、新たな知見などを鑑み、臨機応変かつ適切に対応を図って頂きたい。
- AEDは、校内へ継続設置され、適正に管理されているが、運用に万全を期すよう更新や研修を徹底するとともに、近隣の緊急貸出要請にも対応できる仕組み作りと、保護者等への周知もお願いしたい。
- 登下校の事故防止のため、自転車通学生徒用ヘルメットの購入補助をしたことは評価できる。補助事業の継続にあわせて、各中学校での安全な自転車の乗り方の指導を徹底して頂きたい。
- 学校保健委員会において児童生徒の健康問題を保護者と共有することは重要である。今後も、効果的な運営を望む。

No. 6	施策の方向	教育環境の充実	担当課・係	
			学校教育課 ・学校教育担当 ・教育施設担当	
施策の内容	その他			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・小学校管理運営事業	31,245千円	243,586千円	
	・小学校管理運営事業（政策）	112,017千円	-	
	・小学校教材備品整備事業（政策）	3,334千円	2,500千円	
	・中学校管理運営事業	15,165千円	67,419千円	
	・中学校管理運営事業（政策）	34,454千円	-	
	・中学校教材備品整備事業（政策）	2,999千円	3,100千円	
<b>【令和3年度取組内容】</b> ・小中学校管理運営事業 消耗品の購入や修繕等、各学校からの要望を考慮しながら、児童生徒数・学校規模・実情等に合わせた予算の配当及び執行に努めた。 学校統合による霞ヶ浦地区の遠距離通学者を対象としたスクールバスを継続運行した。（霞ヶ浦南小9コース、霞ヶ浦北小7コース、霞ヶ浦中4コース） 教職員の負担軽減を目的とし、学校施設の維持管理業務（草刈・剪定等）を担当する学校校務員を7名配置（小中学校11校を分担）し、児童生徒がより良い環境で学校生活を過ごせるよう努めた。 校務支援システムを導入して校務をデジタル化することで、教職員の事務作業の軽減や効率化を図り、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、充実した学習指導や生徒指導を行うための環境整備を進めた。 ・小中学校教材備品整備事業（政策） 児童生徒の学力向上及び授業の効率化を目的に教材・教具の購入を実施し、その充実に努めた。				
<b>【課題・今後の対応】</b> ・小中学校管理運営事業 児童生徒数のほか、施設規模等により必要とする予算が異なるため、学校ごとの予算の必要性を見極めながら適正な予算確保と執行に努める必要がある。 スクールバスの運行については、令和4年度から千代田義務教育学校も加わることもあり、改めて安全確保への認識を再徹底する必要がある。また、国の補助制度は導入後5年で終了する（霞ヶ浦中地区は令和2年度までに終了している）ことから、財源の確保が課題である。 ・小中学校教材備品整備事業（政策） 小中学校の教材備品整備については、廃校となる小学校備品の再利用、購入の優先順				

<p>位等を念頭に置きながら学校と連携を図り、安定した備品の確保を図っていく必要があり、今後も必要な備品の採択と整備に努めることが重要である。</p>
<p><b>【目標達成状況の内部評価】</b></p> <p><input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった</p> <p><input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった</p>
<p><b>【その他】</b></p>
<p><b>【点検・評価委員の意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スクールバス運行にあたって、保護者負担とすることは理解を得にくいことから、今後も、市の財源確保（国や県への継続的な補助の要望を含む）による無償での継続運行に努められたい。また、スクールバスの運行を委託している事業者への安全対策指導を継続徹底されたい。</li> <li>●学校校務員の7名配置（11校を分担）が、令和4年度には全校配置（7校に各1名ずつ）につながり、計画性を評価できる。</li> <li>●学校校務員の配置や校務支援システムの導入は、学校環境の整備と教職員が児童生徒と向き合う時間の確保につながり、効果が出てきていることは、評価できる。</li> <li>●教材備品として、理科教材備品の充足率が小学校75.3%、中学校51.3%との報告があったが、特に充足率の低い中学校への整備を進め、充足率80%以上を目標に取り組んで頂きたい。また、音楽や体育などの他教科の教材備品の充足を推進して頂きたい。</li> </ul>

No. 7	施策の方向	教育環境の充実	担当課・係	
			学校教育課 ・学校教育担当 ・教育施設担当	
施策の内容	児童生徒の望ましい食習慣づくりを推進するとともに、学校給食に地域の食材を活用したメニューづくりに努めます。			
事業名 及び 事業費	事業名		令和3年度決算額	令和4年度予算額
	・小学校給食管理運営事業		89,830千円	176,883千円
	・小学校給食管理運営事業（政策）		58,334千円	-
	・中学校給食管理運営事業		73,170千円	122,774千円
	・中学校給食管理運営事業（政策）		46,117千円	-
<b>【令和3年度取組内容】</b> ・小中学校給食管理運営事業 学校給食調理業務を民間に委託し、自校方式（志筑小・上佐谷小の2校分は千代田中において併せて調理）による学校給食の運営を実施した。また、調理設備等の修繕・更新も優先度の高いものから順次対応した。 学校給食費を公会計化したことから、給食食材費が予算化され、給食を安定して提供することができた。 また、令和2年度までは各学校（教職員）が担っていた給食費の徴収・管理業務を、教育委員会（学校教育課）が一括して行うことで、教職員の事務負担を大幅に削減することができた。				
<b>【課題・今後の対応】</b> ・小中学校給食管理運営事業 各校の施設及び設備の老朽化が進んでいるため、安定した給食の供給が行えるよう定期的な設備点検等を実施することが必要と考えられる。 また、食物アレルギー対策については、対象児童生徒への給食費の一部返金（牛乳分）を継続し、食物アレルギー対応マニュアルに基づく継続した対応が必要である。 なお、令和3年度から学校給食費が公会計化されたことにより、学校教育課としては業務が増え、人員確保等の対策が必要と考えられる。 コロナ禍への対応として、給食用衛生アルコールを使用し、調理現場の衛生管理を徹底強化するとともに、喫食時には児童生徒用の机上へパーティションを設置活用するなどして、引き続き感染拡大やクラスター発生の防止に努める。				
<b>【目標達成状況の内部評価】</b> <input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった <input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった				

【その他】

【点検・評価委員の意見】

- 学校給食管理業務を民間に委託して継続的に安定した学校給食の運営を進めるとともに、自校方式の強みを生かし、地場産の食材を活用するなど良質で安全安心な給食の提供と食育の充実に努めてきたことは評価できる。
- 今後も、多様な献立づくりや安全安心な給食の提供がされることを期待することから、引き続き、栄養教諭と連携しながら、マニュアルに基づく食物アレルギー対応を図るとともに、アレルギー除去食の範囲拡大などの対応を検討願いたい。また、老朽化した調理設備の修繕や調理現場の衛生管理（新型コロナウイルス対策を含む）の徹底を図るとともに、異物混入の防止に万全を期すよう、調理スタッフの教育や食材納品業者と連携を図って頂きたい。
- 令和3年度から実施された学校給食費の公会計化により、教職員の事務負担が大幅に軽減されたこと及び極めて高い徴収率を達成したことは大いに評価できる。一方で負担の増加した学校教育課員の働き方改革のための人員の確保も必要と考える。
- 令和3年度に見直された国の学校給食摂取基準を満たすように献立を工夫するとともに低所得世帯等の児童・生徒の栄養摂取状況も注視して頂きたい。

No. 8	施策の方向	教育内容の向上	担当課・係	
			学校教育課	・総務担当
施策の内容	その他			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・教育委員会運営事業 ・教育委員会事務局運営事業	2,440千円 11,240千円	2,795千円 14,951千円	
<p>【令和3年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会運営事業 教育委員会会議（定例会12回・臨時会1回）を開催し、教育についての方針・施策などを合議により決定した。</li> <li>・教育委員会事務局運営事業 教育振興基本計画策定委員会を3回実施し、教育振興基本計画（第4期）を策定した。 教育委員会事務局の所管事務、教育委員会バスの管理及び運行を実施した。（運行日数は教育委員会バスが74日、借り上げバスが44日。教育委員会バスの稼働率は20%）</li> </ul>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会運営事業 教育委員会会議及び総合教育会議を開催し、本市教育行政の更なる充実を図る。</li> <li>・教育委員会事務局運営事業 教育振興基本計画（第4期）を踏まえた各種事業の遂行に努める。 教育委員会及び市が主催する事業の際に、子どもから高齢者まで様々な学習活動時に使用する教育バスについて、感染症対策を実施しつつ更なる安全運行を図る。</li> </ul>				
<p>【目標達成状況の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった</p> <p><input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった</p>				
<p>【その他】</p>				
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <p>●教育振興基本計画（第4期）にむけて、策定委員会が3回実施され、予定通り5年間の本市教育行政の基本的な施策となる第4期教育振興基本計画が策定されたが、今後、学校・家庭・地域及び関係機関との連携協力を図りながら、計画に基づいて推進されることに期待する。また、同計画で示された事業等を実施する際には令和4年3月に策定された県の新教育プランとのすり合わせを出来得る範囲で図って頂きたい。</p>				

●教育委員会バスの稼働率は、コロナ禍ということもあり20%であるが、感染症対策を適切に行い安全運行に努めたことは評価できる。引き続き感染症対策を図るとともに、柔軟な活用についての検討も含め、稼働率の向上を図って頂きたい。

No. 9	施策の方向	教育内容の向上	担当課・係	
			学校教育課	・学校教育担当 ・教育指導室
施策の内容	<p>基礎的・基本的な学習の定着や一人ひとりの習熟度に合わせた主体的な学習を進め、グループ学習などの協働的な学習を積極的に取り入れ、情報化や国際化などに対応した教育を進めます。さらには、本市の自然環境を活用した環境教育や福祉施設、各種事業所での社会体験を取り入れるなど、地域に合った教育の実践に取り組むとともに、児童生徒の心と体の健康づくりを推進するため、体育指導の充実、健康教育の推進を図ります。また、特別の支援を要する児童生徒のそれぞれのニーズに対応した指導に努めます。</p>			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・教育指導事業	53千円	3,822千円	
	・教育指導事業（政策）	12,099千円	-	
	・指導主事設置事業	27,962千円	28,182千円	
	・指導主事設置事業（政策）	285千円	-	
	・英語指導助手設置事業（政策）	18,556千円	21,780千円	
	・教育推進団体設置事業	55千円	2,935千円	
	・教育推進団体設置事業（政策）	825千円	-	
	・中学校部活動支援事業	346千円	15,296千円	
	・中学校部活動支援事業（政策）	6,249千円	-	
・小学校教育振興事業（政策）	18,962千円	6,403千円		
・中学校教育振興事業（政策）	17,740千円	17,283千円		
<p>【令和3年度取組内容】</p> <p>・教育指導事業</p> <p>土浦・石岡・かすみがうらの3市で構成する茨城県第6採択地区教科用図書選定協議会に参加し、令和3年度使用教科用図書のうち中学校の全教科及び小・中学校特別支援学級用教科用図書の整備を実施した。また生徒の学力向上を図るための教師用指導書を整備した。なお小学校にはデジタル教科書（国・社・算・英）を中学校にはデジタル教科書（国・社・数・理・英）を整備した。</p> <p>外部講師を招き、教員向けICT研修を実施した。</p> <p>・指導主事設置事業</p> <p>県からの派遣により指導主事3名を配置し、学校運営に係る各種指導及び計画訪問等での職員への指導、助言及び教職員の服務規律の確保と学校事故の未然防止、並びに円滑な人事異動等を実施した。また、教職員研修会を企画・運営し、外部講師を招き、小中一貫教育の指導法改善の研修を実施した。</p> <p>・英語指導助手設置事業（政策）</p>				

小中学校へALT（外国語指導助手）を6名（うち4名は小学校を兼務）配置し、中学生の外国語科授業と小学生の外国語科・外国語活動における初期実践英語の習熟を実施し、言語活動の充実を図った。

・教育推進団体設置事業

市の教職員等で組織する「かすみがうら市教育研究会」の活動を助成し、教育水準の向上と教職員等の資質向上を図った。

・中学校部活動支援事業

中学生の競技意欲の向上と心技体の強化及び協調性の育成を目的に各部活動に係る経費を助成し、また、「かすみがうら市部活動の方針」に基づき、教職員の負担軽減と部活動の円滑な運営を推進することで生徒の健全育成を図った。

・小学校教育振興事業（政策）

観察実験アシスタントの配置による理科の実験準備や理科準備室の整備の推進。

複式学級を有する学校において、継続して1複式学級にTT非常勤講師1名ずつ（2小学校4学級）を配置し、円滑な学級運営を図った。

学校生活相談員（警察OB）2名をローテーションで配置し、下稲吉小学校・下稲吉東小学校・七会小学校・霞ヶ浦南小学校の児童の見守りを実施した。

・中学校教育振興事業（政策）

課題のある生徒への対応として、学校生活相談員（警察OB）4名をローテーションで配置し、霞ヶ浦中学校・下稲吉中学校における登校時から下校までの生徒の見守り活動や必要に応じて警察との連携を実施した。

また、小中教育の連携を図るため、非常勤講師を3名配置し、外国語（英語）の授業補助を実施した。

【課題・今後の対応】

・教育指導事業

中学校の学習指導要領完全実施に伴い新しい教科書が採択されたため、それに対応した指導書やデジタル教材をさらに整備するための財源確保が必要である。

・指導主事設置事業

新学習指導要領が実施されることで、授業数が増加になる他、生徒指導の問題や特別支援教育の充実など、学校における様々な諸問題が増えつつある。さらに、GIGAスクール構想に伴う1人1台端末への対応やコロナ禍における学校の感染症対策についての指導等も加わり、今後も指導主事の役割は重要である。また、社会情勢などの諸変化に伴い指導方法・学校運営・保護者のニーズなどが常に変化しつつあり、これらの変化を捉え学校運営の適切な指導助言を行うとともに、教職員の服務体制の確立及びコンプライアンス委員会等の実施内容を確認し、指導を継続していく必要がある。

働き方改革による教職員の負担軽減を考慮しながらより効果的な授業力向上等の研修を検討する。

・英語指導助手設置事業（政策）

新学習指導要領により令和2年度（茨城県では令和元年度）より小学校第3・4学年

では外国語活動の時間が年間35時間となり、第5・6学年では外国語が教科化され、年間70時間となったことから、今後も小学校における外国語及び中学校外国語科授業における児童生徒への言語活動の体験に不足が生じないように、ALT（外国語指導助手）を小中学校に計6名配置し、そのための財源の継続的な確保が必要である。

・教育推進団体設置事業

教育水準の維持と向上を図っていくため、その指導方法等において市教育研究会を通じ、学校間と教職員間の連携を図っていくことが引き続き重要である。

・中学校部活動支援事業

中学校の部活動においては、教育活動としての有効性が認められており、継続した活動の支援が必要である。また、その成果でもある茨城県大会及び関東大会、全国大会には複数の部が出場を果たし、引き続き支援が必要である。

働き方改革の観点から部活動指導員（外部指導者）の活用をさらに推進していくことが必要である。

・小学校教育振興事業（政策）

観察実験アシスタントの機能的な配置と確保が必要である。

・中学校教育振興事業（政策）

不登校傾向生徒や授業離脱生徒に進路目標を持たせるための教師と生徒の人間関係づくりと個別の学習支援を図っていく必要がある。

【目標達成状況の内部評価】

- A. 目標よりも大きな成果が得られた
- B. 概ね目標の成果が得られた
- C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった
- D. 目標とする成果が得られなかった

【その他】

【点検・評価委員の意見】

- 第6採択地区教科用図書選定協議会で採択された使用教科用図書、さらにはそれに伴う指導書やデジタル教科書が、有効に活用されるよう整備され、学力向上につながることを大いに期待する。また、外部講師によるICT研修を生かし、デジタル教科書を活用した授業展開から教科の興味関心を持たせ、学力向上になることに期待する。
- 現在、県からの派遣により3名の指導主事が配置されているが、統廃合により7校（小学校4校・中学校2校・義務教育学校1校）になったものの、児童生徒への質の高い教育活動を目指して教員の指導助言の必要性だけでなく、ICT教育や職員コンプライアンス、いじめ対応などの重要な役割も担っていることから、今後の配置についても特段の配慮を期待する。
- 言語活動の体験が不足せずコミュニケーション能力が高まるよう、外国語指導助手（ALT）の6名は必要な配置であり、さらに、観察実験アシスタント、TT非常勤講師、学校生活相談員など、多様な人材を継続配置していることも含め、評価できる。今後も

きめ細かな対応と教職員の働き方改革に資する人員の配置に努めて頂きたい。また、外国語指導助手6名の内4名が小学校を兼務しているため担当指導主事の授業参観を行い指導して頂きたい。

- 部活動指導員（外部指導者）の人材確保に努め、令和4年度より1名（陸上競技部）の採用に至った。できる部活動から進め、教職員の負担軽減と部活動の円滑な運営を推進されていることは評価できる。教員の負担軽減のためにも引き続き部外指導員の確保に努め、他の部活動も採用されることを期待する。
- 学校生活相談員（警察OB）の採用が継続され、課題のある児童生徒への対応や校内での見守り活動が行われ、安全安心な学校生活の確保に繋がっていることは評価できる。今後も児童生徒の課題に対応できる人材を確保して頂きたい。

No. 10	施策の方向	教育相談の充実	担当課・係	
			学校教育課 ・学校教育担当 ・教育指導室	
施策の内容	教育相談員やスクールカウンセラーを配置し、児童生徒の心のケアに努め、教育に係る相談やサポート体制の充実を図ります。また、学校・行政・医療機関との連携により、社会環境や学習環境の変化に迅速な対応を図り、総合的な教育相談体制の整備をするとともに、全校で学校いじめ防止活動の推進を図りながら、学校・行政・警察署など関係機関の連携の基に、組織的な取り組みを推進します。			
事業名 及び 事業費	事業名		令和3年度決算額	令和4年度予算額
	・教育支援委員会設置事業		414千円	441千円
	・学校支援員設置事業（政策）		44,957千円	50,805千円
	・教育相談事業		6,075千円	7,446千円
	・教育相談事業（政策）		699千円	-
	・小学校就学支援事業		17,944千円	27,586千円
	・中学校就学支援事業		8,991千円	22,054千円
<b>【令和3年度取組内容】</b> ・教育支援委員会設置事業 教育支援委員会を組織し、特別な支援を要する等により通常の学級への就学が困難と判断される児童生徒の就学先の判定とその指導を実施した。 ・学校支援員設置事業（政策） 特別な支援を要する児童生徒に学校支援員26名を配置し、個々の介助により学校生活の円滑化を図った。 ・教育相談事業 適応指導教室（ひたちの広場）を設置し、不登校児童生徒の集団生活への適応指導を行うことにより学校への復帰支援を実施した。 また、いじめの未然防止については、「学校いじめ防止基本方針」、「市いじめ防止等に関する条例」、「市いじめ防止基本方針」に基づき、小学校でCAPいばらき（いじめ防止プログラム）によるワークショップを実施し、また中学校では県弁護士会による「いじめ防止授業」を実施している。 「いじめ問題対策会議」については文書開催した。 ・小中学校就学支援事業 家庭の経済的事情により就学が困難な児童生徒に対し、就学援助費を支給し、知的・情緒・言語等の障害により特別支援学級に通級する児童生徒に対し、保護者の負担軽減を図る目的で就学奨励費の支給を実施した。また、小学校の就学時健康診断において、就学援助制度の資料を配布し、制度の周知を図ると共に就学援助対象世帯へ入学準備金を就学前支給し、併せて全ての新入学児童へランドセルの無償支給を実施した。な				

<p>お、就学援助制度については、事務処理用のシステムを導入し、業務の効率化を図っている。</p>
<p><b>【課題・今後の対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援委員会設置事業 <p>小学校就学前の幼児を持つ保護者から通常の学級での適応に対する調査員による相談を求められるニーズがある。さらに、就学後にも支援が必要と思われる児童が生ずるなど、対象児童を把握する方法に工夫が必要と考えられる。また、特別支援教育の必要性の検討を要する児童生徒を把握するため、児童生徒の状況を十分に把握し、関係機関との連携を図りながら判断する必要がある。</p> </li> <li>・学校支援員設置事業（政策） <p>特別な支援を要する児童生徒の通常の学級への就学希望が増えており、これに伴い学校支援員の需要も増してきていることから、必要な人材の継続的な確保に努める。</p> </li> <li>・教育相談事業 <p>保護者等からの教育相談におけるニーズは今後も増加するものと考えられるため、今後の相談体制の充実と学校等との連携の取れた活動が必要である。</p> <p>また、いじめ問題については、平成27年度よりいじめの認知に関する認識を強化するよう国から通達があった。市においても各校へ認知強化するよう指導するとともに、「市いじめ防止等に関する条例」及び「市いじめ防止基本方針」の施行に基づいて、早期発見・未然防止に努める。また、学校、教育委員会、福祉事務所、警察署その他関係機関と連携し対応を図る。常に変化しているいじめの実態について適切かつ迅速に対応していく必要がある。</p> </li> <li>・小中学校就学支援事業 <p>就学援助の認定率を向上させるため、随時制度の周知方法を検討していく必要がある。</p> </li> </ul>
<p><b>【目標達成状況の内部評価】</b></p> <p><input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった</p> <p><input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった</p>
<p><b>【その他】</b></p>
<p><b>【点検・評価委員の意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育支援委員会を組織し、特別な支援を必要とする児童生徒への就学先の判定と指導については適正な教育ができるように継続を期待する。</li> <li>●小一プロブレムの解消を含めて、幼児（教育）施設や保護者との情報交換方策を継続して検討頂きたい。</li> <li>●支援が必要な児童生徒に対応する26名の学校支援員を置いていることは評価できる。引き続き学校支援員の充実を図るとともに、法改正に伴う病児教育の方策を検討頂</li> </ul>

きたい。

- コロナ禍による家庭の経済事情で就学困難となる児童生徒や登校意欲喪失による不登校児童生徒の増加（小学生43人、中学生67人）が懸念される。安心して就学できるよう、小中学校就学支援事業の更なる充実のほか、適応指導教室（ひたちの広場）やオンライン授業などにより、学ぶ機会を確保し、いつでも学校に戻れる環境を整えていくことが求められる。適応指導教室の必要性は明らかだが、場所の問題なのか利用者が少ないという報告を受けたことから、今後の教室運営に期待する。コロナ禍により児童生徒の会話が少なくなったので環境の変化が見えにくくなっており、困っている児童生徒・保護者が安心して相談できるスクールカウンセラー等との相談体制の充実を期待する。
- CAPいばらきによる体験型研修や弁護士による「いじめ防止授業」等の各種の施策を実施するなどして、高水準のいじめの解消率を維持していることは評価できる。今後も、いじめ対策に学校間での格差が出ないように対応の平準化を図るとともに担任が一人で抱え込まずに学校が組織的に対応する態勢づくり、児童生徒から信頼される教職員の育成に取り組まれるよう期待する。
- 男女共同参画の指導を推進し、多様な選択を可能にする教育・学習の充実を図って頂きたい。
- 就学が困難な児童生徒に対して保護者の負担軽減を図る目的で就学奨励費を支給し、また、新入学児童の希望者全てにランドセルの無償支給したことは評価できる。
- 増加傾向にある多種多様な保護者等からの相談に対して適切に応じるため、学校や教育委員会の更なる体制強化が必要と考える。

## 2 社会性豊かな青少年の健全育成

No. 11	施策の方向	子どもミライプロジェクトの展開	担当課・係	
			学校教育課 ・教育指導室	
施策の内容	<p>児童生徒の創造性や活力を生かした様々な体験・交流活動など、学校ごとに地域の特色を生かした取組みを支援します。</p> <p>国や市の現状と将来について、子どもたちが理解しやすい教材や映像資料などを制作し、地方創生に関する「出前授業」やまちの未来を考える「子どもミライワークショップ」を開催します。また、地場産品や歴史文化を題材としたキャリア教育を実施します。</p>			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・子どもミライ学習事業（政策）	1,101千円	1,728千円	
<p><b>【令和3年度取組内容】</b></p> <p>・子どもミライ学習事業（政策）</p> <p>コロナ禍のため、小学6年生対象の地域産業の担い手から仕事や生活について話を聞く「出前授業」、中学1年生対象の市の資源を活かした新商品を考案する「ワークショップ」、中学2年生対象の新商品を販売体験する「マルシェ」について、前年度同様、規模の縮小や内容変更（ワークショップ：大学の事業協力→担任中心、マルシェ：販売体験→試食体験）をして実施した。</p>				
<p><b>【課題・今後の対応】</b></p> <p>・子どもミライ学習事業（政策）</p> <p>コロナ禍においても効果的な事業の手法については、随時、検討・改良を図っていく必要がある。</p> <p>中長期的に事業を継続しないと明確な事業成果が得られない事業であるが、成果の適切な評価・検証が必要。</p>				
<p><b>【目標達成状況の内部評価】</b></p> <p><input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった</p> <p><input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった</p>				
<p><b>【その他】</b></p>				
<p><b>【点検・評価委員の意見】</b></p> <p>●地場産品や歴史文化等の地域の特色を題材にしたキャリア教育という観点からも企画は素晴らしく、コロナ禍で活動を制限される側面もあったが、「ワークショップ」や「マルシェ」を行うことで生徒の達成感・満足感を得る事業を実施できたことは評価でき</p>				

る。

- 今後も児童生徒が事業の趣旨（郷土を愛し誇りに思う心を育み、未来のまちづくりを考  
えることができる人材の育成）をよく理解して、地域・地元への愛着を増進し、企画力  
やプレゼンテーション能力の向上にも繋がるよう、高校生会や大人クラブの活動に対  
する評価なども参考に、実施方法や内容を工夫しながら継続して事業に取り組みたい。

No. 12	施策の方向	青少年健全育成活動の促進	担当課・担当	
			生涯学習課 ・社会教育担当	
施策の内容	<p>青少年の健全な育成を図るため、地域活動における指導者の養成に努め、活動団体の連携のもと組織の強化を図るとともに、地域の子ども会やスポーツ少年団、青少年育成市民会議、地域行事、奉仕活動など青少年が積極的に自主的活動ができる環境づくりを支援します。また、学校・家庭・地域の連携による地域住民が取り組むボランティア活動や、保護者を対象とした家庭教育学級を開講し、子育ての悩みなど、気軽に相談できるネットワークづくりの支援に努めます。</p>			
事業名 及び 事業費	事業名		令和3年度決算額	令和4年度予算額
	・青少年育成事業		1,269千円	4,778千円
	・青少年育成事業（政策）		1,584千円	
	・学校家庭地域の連携協力推進事業（政策）		494千円	910千円
<p><b>【令和3年度取組内容】</b></p> <p>・青少年育成事業</p> <p>①市子ども会育成連合会</p> <p>平成27年度から市子連役員向けの研修会などを開催し、意識改革に取り組み、市子連のメイン事業であった「リーダー研修会」を平成28年度から再開し、令和元年度はスキー合宿を実施した。令和3年度はWithコロナの中、親子つり大会や納涼レクリエーション、親子ふれあいハイキングを企画、準備を進めたが、新型コロナウイルス感染者数の拡大の影響により、結果的に中止に至った。しかし、12月のかすみっ子まつり（26人参加）は実施することができた。</p> <p>②家庭の教育力充実事業</p> <p>保護者の教育力の向上を目的に、市内小中学校の1年生の保護者向けには家庭教育学級を実施（小・中学校に委託）した。また、令和元年度から、市内幼児教育施設（保育園や幼稚園）にも委託した。令和3年度は、市内8小学校、3中学校、5幼児教育施設に家庭教育学級を委託し、親子教室や人権教室、メディア教育講演会など合計71事業、延べ1,621人の児童、生徒、保護者が参加した。</p> <p>・学校家庭地域の連携協力推進事業</p> <p>（1）放課後子ども教室推進業務委託</p> <p>①下稲吉中学校での「放課後学習支援」</p> <p>【11回開催、金曜：19人申込・夏季：23人申込、延べ参加者数170人】</p> <p>②下稲吉中学校区を中心とした「放課後体験教室」</p> <p>【3回開催、延べ参加者数90人】</p> <p>（2）土曜日の教育支援体制等構築業務委託</p> <p>①大塚児童館での「いなよし学習広場」</p> <p>【34回開催、19人申込、延べ参加者数205人】</p>				

②「寺子屋運武館」【18回開催、36人申込、延べ参加者数38人】
<p><b>【課題・今後の対応】</b></p> <p>○市子ども会育成連合会事業  担い手の育成策として、高校生会などに市子連の指導員として活動してもらい、ジュニアリーダーの育成を図っていく。</p> <p>○家庭の教育力充実事業  家庭教育学級を小・中学校に加え、市内の幼児教育施設に実施してもらったが、未実施（5施設）の幼児教育施設もあるため、実施してもらえるよう依頼する。</p> <p>○学校家庭地域の連携協力推進事業  土曜日の学習支援事業では、「寺子屋運武館」が完全に自主運営出来るよう支援していく。</p>
<p><b>【目標達成状況の内部評価】</b></p> <p><input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった</p> <p><input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった</p>
<p><b>【その他】</b></p>
<p><b>【点検・評価委員の意見】</b></p> <p>●市子ども会育成連合会の事業については、計画立案はしたがコロナ禍により中止となったことはやむを得ないと考えるが、子ども会単位組織の消失による活動停止を防止するため、単位組織の合併促進等に取り組んで頂きたい。</p> <p>●保護者の子育てへの気付きとネットワークづくりにつながる学習の機会となる家庭教育学級について、開催されていない幼児教育施設でも実施できるよう、関係各課が連携して支援をして頂きたい。</p> <p>●核家族化や共働きが常態化した中で、放課後子ども教室推進業務委託が継続されていることについて、意欲的に学習・活動に取り組む児童生徒への支援の継続に期待する。</p>

No. 13	施策の方向	青少年の健全育成と体制の整備	担当課・担当	
			生涯学習課	・社会教育担当
施策の内容	<p>少年非行の早期発見や未然防止のため、青少年相談員を中心に家庭と地域と行政が一体となって、街頭指導や夜間パトロールを行います。</p> <p>また、各種相談や非行防止キャンペーンなどの啓発活動や有害図書類の監視など、家庭、学校、地域、各関係機関や団体と一体となって環境浄化活動を行います。さらには青少年育成市民会議の活動を強化し、市民総ぐるみで青少年の健全育成体制の充実を図ります。</p>			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・青少年育成事業	1,269千円	4,778千円	
	・青少年育成事業（政策）	1,584千円	-	
<p><b>【令和3年度取組内容】</b></p> <p>・青少年育成事業</p> <p>①青少年相談員連絡協議会</p> <p>青少年意識・動向等に対応しながら、市内の店舗訪問や巡回指導（月2回）</p> <p>※あいさつ運動、非行防止キャンペーン、イベントの際のパトロール・啓発活動等は、新型コロナの影響により中止。</p> <p>○青少年相談員出席率</p> <p>R3：184 / 214 ⇒ 86.0%</p> <p>②青少年育成かすみがうら市民会議</p> <p>「地域の子どもは地域で育てる」の観点から、市民からの賛助金をもとに、市民総ぐるみの各種青少年健全育成事業を実施した。中でも、ウィークエンド・コミュニティー・スクール事業については、今までは社会教育担当が直営で事業の実施をしていたが、平成28年度からは、既に青少年の健全育成活動に取り組んでいる団体や部署と連携で取り組むこととしたため、子どもたちにバラエティに富んだプログラムを提供できた。（参加延べ人数：平成29年度570人⇒平成30年度715人⇒令和元年度716人⇒令和2年度64人⇒令和3年度26人、実施回数：平成29年9回⇒平成30年度9回⇒令和元年度7回⇒令和2年度1回⇒令和3年度1回）</p> <p><b>【内容】</b></p> <p>青少年相談員連絡協議会・市高校生会・中学生立志式への助成、青少年心身健全育成事業（ジュニア和太鼓教室）やウィークエンド・コミュニティー・スクール事業の実施、成人式での成人者への記念品の贈呈・式典費用の一部助成</p>				
<p><b>【課題・今後の対応】</b></p> <p>・青少年育成事業</p> <p>市民からの賛助金をもとに各種青少年健全育成事業を実施しているが、今後も青少年に対しては、体験活動や世代間の交流を通して、地域における健全育成の取り組みを</p>				

さらに充実させていく必要がある。
<p>【目標達成状況の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった</p> <p><input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった</p>
<p>【その他】</p>
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <p>●青少年の健全育成のための青少年相談員連絡協議会については、86%の出席率であることは、意識が高いことの表れであり、街頭指導や夜間パトロール、環境浄化活動に継続的に取り組み、成果をあげていることは大いに評価できる。今後も内容に工夫をし、関係者の増加や新陳代謝を図りながら継続して頂きたい。</p> <p>●青少年育成かすみがうら市民会議の活動では、千代田中学校の立志式に助成がされたが、コロナ禍で霞ヶ浦中学校・下稲吉中学校の開催が中止となっていたため、令和4年度に事業内容を工夫した取り組みを期待する。</p>

No. 14	施策の方向	地域の担い手の育成	担当課・担当	
			生涯学習課	・社会教育担当
施策の内容	高校生会や成人式実行委員会などの若者の自主的な活動を支援するとともに、各種団体の交流や連携により、将来の地域の担い手育成に努めます。			
事業名 及び 事業費	事業名 ・青少年育成事業（政策）	令和3年度決算額 1,584千円	令和4年度予算額 -	
<p><b>【令和3年度取組内容】</b></p> <p>・青少年育成事業</p> <p>①新成人者主体の成人式典の開催</p> <p>毎年、事前に成人式実行委員会（当該年度成人者による組織）を設置し、成人主体の成人式を目指している。8月に成人式実行委員会を設立し、コロナ禍の中で出来ることを考え、具体的には、「恩師によるメッセージビデオ」を企画し、市HPへアップした。</p> <p>令和3年度はコロナ禍での開催を想定し、式典を2回に分けて行う2部制とし、規模を縮小して式典を短時間で行った。また、新成人者には、令和4年かすみがうら市成人式新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインへの協力を依頼した。さらに、受付体制として、ワクチン接種済証の提示や未接種の方への抗原検査を実施した。（令和3年度：287人／423人 67.8%）</p> <p>②地域の担い手の育成対策</p> <p>地域の担い手発掘、育成のため、高校生会や成人式実行委員会の活動を支援した。また、大人クラブ（20代から40代を対象にした、以前の青年会のような地域の若者組織）の活動を支援した。</p> <p>○高校生会 会員27人 会議＋各種催しの手伝いなど 10回 参加延べ人数62人</p> <p>○成人式実行委員会 委員19人 会議（※当日含む） 4回 参加延べ人数56人 成人式の企画及び成人式典の運営</p> <p>○大人クラブ 会員10人 会議＋催し 5回 参加延べ人数18人</p>				
<p><b>【課題・今後の対応】</b></p> <p>○地域の担い手育成対策</p> <p>中学生のジュニアリーダーから始まり、高校生会、二十歳の集い実行委員会、子ども会指導者、大人クラブという流れを確立し、長期的な視点で明確なビジョンを持ち継続して支援に取り組む必要があります。また、より各団体の内情に入っていけるような、サポート・相談体制の充実を図っていく必要があります。</p>				

**【目標達成状況の内部評価】**

- A. 目標よりも大きな成果が得られた
- B. 概ね目標の成果が得られた
- C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった
- D. 目標とする成果が得られなかった

**【その他】**

**【点検・評価委員の意見】**

- 事前に成人式実行委員会を設置し、20歳で成人主体の成人式を目指してコロナ禍で開催されたことは意義のあることと考える。新成人の今後の活躍に期待する。
- 地域の担い手の育成対策として、中学生のジュニアリーダー、高校生会、二十歳の集い実行委員会、子ども会指導者、大人クラブへの継続的な参加という流れを確立し、長期的な視点で明確なビジョンを持ち継続サポート・支援していくことに期待する。

### 3 生涯学習の充実

No. 15	施策の方向	生涯学習推進体制の確立	担当課・担当	
			生涯学習課 ・社会教育担当 ・霞ヶ浦中地区公民館 ・千代田中地区公民館 ・下稲吉中地区公民館 ・図書館 ・歴史博物館	
施策の内容	「かすみがうら市生涯学習推進計画」を策定し、計画に沿った生涯学習推進に努めます。また、生涯学習の進むべき方向性や様々な課題に対し、諮問機関など、専門的意見の聴取に努めます。			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・生涯学習推進事業	3,852千円	-	
	・公民館運営審議会運営事業	83千円	210千円	
	・図書館運営事業	10,807千円	30,385千円	
	・歴史博物館管理運営事業	11,574千円	18,825千円	
<b>【令和3年度取組内容】</b> 生涯学習課の進むべき方向や様々な課題に対し、学識経験者や関係団体の代表者の方の意見を聞くため、以下の4つの諮問機関がある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進事業              社会教育委員会議の開催（年2回）              ※かすみがうら市社会教育委員会議では、令和2年9月29日付、か教生諮問第3号で諮問を受けた、「成年年齢引下げ後のかすみがうら市成人式の対象年齢及び名称について」について、令和3年8月6日にかすみがうら市教育委員会に答申した。</li> <li>・公民館運営審議会運営事業              公民館運営審議会の開催（年1回）</li> <li>・図書館運営事業              図書館協議会の開催（2回ともに書面決議／年2回）</li> <li>・歴史博物館管理運営事業              かすみがうら市博物館協議会（年1回）</li> </ul>				
<b>【課題・今後の対応】</b> ・生涯学習推進事業 第1期生涯学習推進計画の進行管理が最終年度を迎える。これまでの取り組み内容及び課題点を踏まえ、令和5年度から令和9年度までの新たな第2期生涯学習推進計画を令和4年度に策定していく。				

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公民館運営審議会運営事業 公民館活動でのあらゆる問題等を諮問機関へ提起し、聴取した意見を踏まえて目標通りに遂行できるよう努力する必要がある。</li> <li>・ 図書館運営事業 図書館協議会委員が任期（令和3年4月1日から令和5年3月31日）満了となることから選任準備を要する。</li> <li>・ 歴史博物館管理運営事業 文化財保存活用地域計画の策定に、老朽化した博物館大規模改修、計画的な学芸員の採用などを盛り込み、充実した博物館運営が遂行できるよう計画を実行していく必要がある。</li> </ul>
<p>【目標達成状況の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった</p> <p><input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった</p>
<p>【その他】</p>
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第1期生涯学習推進計画の進行管理が最終年度を迎えることから、これまでの取り組み内容及び課題点について分かりやすくする必要がある。次期「かすみがうら市生涯学習推進計画」がさらに時代を反映したものとなることを期待する。</li> <li>● 社会教育委員会議を2回開催され、市成人式の対象年齢及び名称については、対象者の意見を集約して8月に市教育委員会に答申できたことは評価できる。今後も、諮問機関の意見の聴取に努めて各種事業の推進を図り、市の生涯学習の振興や進むべき方向性及び課題の共有や解決等に役立てて頂きたい。</li> <li>● 図書館運営事業、博物館運営事業において、今後とも専門の知識を有する資格を持つ職員（正職員）を、国が定める施設の職員配置基準等に準拠して配置するなどして、充実した図書館運営、博物館運営を図って頂きたい。</li> </ul>

No. 16	施策の方向	生涯学習機会の提供と生涯学習団体への支援	担当課・担当	
			生涯学習課 ・社会教育担当 ・霞ヶ浦中地区公民館 ・千代田中地区公民館 ・下稲吉中地区公民館 ・文化振興担当 ・歴史博物館	
施策の内容	あらゆる世代や様々な目的に応じたイベント、催し、講座、研修会など、多彩な生涯学習プログラムを提供します。また、各種生涯学習団体が意欲を持って自主活動に取り組めるよう支援します。			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・生涯学習推進事業（政策）	377千円	-	
	・女性団体行政事業	556千円	700千円	
	・生涯学習市民協働事業（政策）	1,058千円	2,020千円	
	・霞ヶ浦中地区公民館講座事業（政策）	1,437千円	849千円	
	・千代田中地区公民館講座事業（政策）	345千円	440千円	
	・下稲吉中地区公民館講座事業（政策）	346千円	440千円	
	・文化芸術振興事業（政策）	548千円	1,215千円	
	・歴史博物館管理運営事業	11,574千円	18,825千円	
	・歴史博物館管理運営事業（政策）	4,317千円	-	
【令和3年度取組内容】				
・生涯学習推進事業 目的とターゲットを明確にし、ライフステージに合わせた形で平成27年度から開講している①子ども大学（将来を担う子どもたちに大学教授クラスのハイレベルの授業機会を提供し、知的好奇心や学問への興味を持たせるため、県内市町村で初めて開講）、②大人大学（まちづくり、地域づくりへの関心及び市政への参加意識を高める機会として、主に20～40歳代をターゲットに講座を開講）、③高齢者大学（高齢者の生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり、居場所づくりのために開講）など、各事業のグレードアップと定着に取り組んだ。 ① 子ども大学 年7回計画の中、5回実施（※2回中止）。延べ参加者数54人 ※うち2回を、ZOOMを利用したオンライン授業とした。 ② 大人大学 年3講座計画の中、2講座実施。延べ参加者数15人 ③ 高齢者大学 年5回計画の中、4回実施（※1回中止）。延べ参加者数76人				
・女性団体行政事業 市事業等へのボランティア活動について協力を計画したが、新型コロナの影響により、市事業自体が中止となった。				
・生涯学習市民協働事業				

市民有志の方で構成する実行委員自らの企画、運営による生涯学習イベント「ふれあい生涯学習フェア」は、従来の単なる文化祭的事業ではなく、①地域づくりの担い手の発掘や育成、②生涯学習課が1年間取り組んできた各種事業や関連団体の発表の場として課全体の各部署が連携して取り組む事業に位置づけしており、多くの参加団体、多くの方が来場している。

○ふれあい生涯学習フェア 2021 オンライン

コロナ禍で不特定多数の参加者が集まるイベントの開催が困難な状況にあるなかで、インターネット上で発表の機会を作ることができないか、という実行委員会の想いから、生涯学習フェアオンライン開催を企画し、実施した。

- ・参加団体：29団体、349人（ステージ、展示団体）
- ・収録期間：10月23日、24日、31日（収録場所：あじさい館など）
- ・内容：歌や踊り、演奏等のステージ発表、作品等の制作にあたる展示団体紹介
- ・掲載方法：ふれあい生涯学習フェアチャンネルを作成し、YouTube上に公開した。  
（公開期間：令和4年2月18日～3月17日）

・霞ヶ浦中・千代田中・下稲吉中地区公民館講座事業（政策）

中学校区ごとに地区公民館組織を置き、三つの地区公民館単位で講座を開講している。ただし、市民の方であれば、どの地区の講座でも受講できる。

① 霞ヶ浦中地区公民館講座 12講座22回 延べ参加人数211人

霞ヶ浦中地区公民館視聴覚講座（土曜名画座【毎月】※コロナウイルスにより2回中止）10作品上映 延べ参加者143人

②千代田中地区公民館講座 12講座49回 延べ参加者474人

③下稲吉中地区公民館講座 11講座47回 延べ参加者369人

・文化芸術振興事業

協会及び協会加盟団体の各種活動の支援を行った。

・歴史博物館管理運営事業

市民に対し本市への郷土愛や誇りを醸成させるためのふるさと学習の一環として各種講座・教室を実施している。通年で11講座35回 延べ受講者数660名。その他、市外の方も対象とした企画展記念講演会1回31名、特別展記念講演会2回51名の参加があった。

【課題・今後の対応】

・生涯学習推進事業

多様化する学習ニーズや地域課題に関する学習機会の充実を図っていく必要がある。また、20代から50代の世代に対しては、学習ニーズの分析や開催時間の工夫など、市民一人ひとりのライフスタイルや働き方に対応した学習しやすい環境をつくっていく必要がある。

・生涯学習市民協働事業

ふれあい生涯学習フェアは、参加する喜びを共有する参加者、関係者が増加するような工夫が必要である。

・文化芸術振興事業

文化団体数及び会員数が減少していることもあり、マナビィに文化団体自主講座を掲載して団体の支援などにも取り組んでおり、今後もこれらの事業を継続していく。

また、活動状況等についてSNS等を活用して広く情報発信するなど、芸術・文化振興の担い手となる人材育成の取り組みを一層充実させるとともに、市民が芸術・文化を創造、発表する場を充実していく必要があります。

・霞ヶ浦中地区公民館講座事業

受講後のサークル化を目指し、計画に基づいて事業を実施しているなかで、令和3年度についてもコロナ禍にあり、一部の講座が中止となってしまった。また、自主サークル化について達成できなかったが、コロナ禍等状況の変化や多様化する要求を踏まえ、ひとつでも多くサークル化できるよう今後も調査・検討していく。

・千代田中・下稲吉中地区公民館講座事業

受講後のサークル化を目指し、計画に基づいて事業を実施しているなかで、多くの講座において受講率目標75%を上回っているが、自主サークル化の実績が伴わない状況である。県や他市の講座、受講者に対するアンケート等も参考にしながら、これまで取り組んだことのない新たな講座も取り入れ、1団体でも多くサークル化できるよう更なる研究を行う。

・歴史博物館管理運営事業

博物館事業は、リピーターが多い現状があるため、新規受講生を開拓していかなければならない。特に現役世代や子供たち、時には親子参加などの年齢層を対象にする講座・教室も開講していく。新規講座開講にあたっては、市民ニーズの情報収集、周知・PRなどを充実させていく。一方では、普段博物館に来館されない方々へ興味、関心を寄せていただくための魅力ある事業を多角的に展開していく。

【目標達成状況の内部評価】

- A. 目標よりも大きな成果が得られた
- B. 概ね目標の成果が得られた
- C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった
- D. 目標とする成果が得られなかった

【その他】

【点検・評価委員の意見】

- コロナ禍により不特定多数の参加者が集まるのが困難なため、生涯学習イベント「ふれあい生涯学習フェア 2021」のオンライン開催を企画して実施され、参加団体29団体、349人が参加され開催できたことは評価できる。
- 子ども大学、大人大学、高齢者大学と年代別の講座を実施していることは評価できるので、今後も継続して頂きたい。
- 霞ヶ浦中・千代田中・下稲吉中地区公民館や博物館の各種講座や事業についてもコロナ禍で、計画した講座が開催されずよぎなく中止になったものはあるが、創意工夫しながら

ら各種講座や事業を実施できたことは大いに評価する。

- コロナ禍で培ったWEB会議やオンライン講座の充実など新しい形態での講座の実施や近年増加する個人のSNSによる動画配信を学ぶ研修会など、市民のライフスタイルの変化に対応した公民館講座が実施できることを望む。また、併せて身近な地元講師の発掘にも力を注いで頂きたい。
- 歴史博物館管理運営事業について、本市への郷土愛や誇りを醸成させるためのふるさと学習の一環として通年で11講座35回延べ660名の参加者があるなど運営に努力されており評価できる。新規講座の開催にあたっては、普段博物館に来館されない方々への興味・関心をよせていただくための魅力ある事業を多角的に展開できるよう期待する。

No. 17	施策の方向	生涯学習施設の整備充実	担当課・担当	
			生涯学習課 ・霞ヶ浦中地区公民館 ・千代田中地区公民館 ・下稲吉中地区公民館 ・図書館	
施策の内容	<p>公民館の適切な維持管理に努め、その適正配置について検討を進めるとともに、必要に応じ施設、設備の整備に努めます。また、暫定利用する旧地区公民館についても適切な維持管理に努めます。</p> <p>図書館は、市民ニーズに応じた図書資料の充実と施設の利便性向上に努めます。</p>			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・旧地区公民館管理事業	3,485千円	41,168千円	
	・千代田公民館管理事業	14,535千円	16,478千円	
	・図書館運営事業	10,807千円	30,385千円	
	・図書館運営事業（政策）	15,091千円	-	
	・蔵書整備事業	1,876千円	7,417千円	
	・蔵書整備事業（政策）	5,858千円	-	
	・ブックスタート事業（政策）	359千円	343千円	
<p><b>【令和3年度取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧地区公民館管理事業 <p>旧地区公民館については、公共施設等マネジメント推進室が進める霞ヶ浦公民館を補完する地区センター（仮称）として、現在の施設または近隣施設への位置づけが決定されるまでの間は、暫定的に地域住民の協力を得ながら、市民協働の関係で管理運営を行った。</p> <p>また、下大津地区においては、旧下大津小学校跡地利用を予定している地区センター（仮称）を設けるにあたり、説明会等を開催して地元公民館役員と当該市担当部署との意見調整等を行い、地元役員の意見を取り入れながら旧下大津小学校の解体工事の発注ができた。</p> </li> <li>・千代田公民館管理事業 <p>施設の老朽化が著しく、市内公共施設の適正配置が未確定であることから、必要最低限の維持補修に止めている。</p> <p>千代田講堂椅子収納台車修繕、受水槽配管漏水修繕、千代田公民館ポンプ修繕等11件の施設修繕を行い、安心安全な施設維持管理を行った。</p> </li> <li>・図書館運営事業 <p>稼働率の高い図書を購入、また、コロナ禍にあっても図書館として出来ることを事業展開することで図書の貸出冊数の増加につなげることができた。</p> </li> <li>・蔵書整備事業</li> </ul>				

<p>住民ニーズに応じた図書、雑誌や視聴覚資料を選書し、計画的に購入する一方、図書整理の過程で生じる不用図書をあじさい館内で希望者に配布しリサイクルを行った。</p> <p>(リサイクル期間 1月15日～2月13日 1,948冊、3月10日～3月25日 368冊 ミニ文庫 620冊、合計配布数 2,936冊)</p> <p>不用図書の除籍数 (4,052冊)</p> <p>・ブックスタート事業</p> <p>平成14年から事業を開始、子育て支援の一環として、また、家庭での絵本の読み聞かせをするきっかけづくりとして、赤ちゃんとその保護者を対象に絵本を配布してきた。令和2年度からは密になるのを避けるため、保健師が赤ちゃん訪問の際、絵本の読み聞かせと本を読むことの大切さを説明し、絵本やアドバイス集をパックにして手渡しをしている。(209名)</p>
<p><b>【課題・今後の対応】</b></p> <p>・旧地区公民館管理事業</p> <p>公共施設マネジメント計画に示された霞ヶ浦地区コミュニティセンター(仮称)を補完する地区センター(支館の活動拠点)として、受益者負担の適正化による収入確保やニーズに対応したサービスの提供による利用促進が図れるよう、関係部署と地域住民の意見つなぎ役としての役割を強化していく。</p> <p>・千代田公民館管理事業</p> <p>千代田公民館については、市内全域の公共施設の更新、適正配置が未確定との理由から、今まで各種修繕が保留されていた経緯があるが、老朽化が激しく、損傷箇所が多々あることから、安全性の確保が難しくなり、住民サービスの低下を招きかねない状況である。</p> <p>今後については、「下稻吉中地区公民館」がわかぐり運動公園体育館内に暫定設置をしていることも含め、令和4年3月に策定した「かすみがうら市公共施設等マネジメント計画第I期実行計画」の中で、移転等が計画されているため他部署と協議していく必要がある。</p> <p>・図書館運営事業</p> <p>概ね3年間にわたりコロナ禍で住民が生活の行動範囲を制限されている。そんな中、家に居ながらにして本が読めるよう早期の電子図書システムの構築が必要である。</p>
<p><b>【目標達成状況の内部評価】</b></p> <p><input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった</p> <p><input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった</p>
<p><b>【その他】</b></p>
<p><b>【点検・評価委員の意見】</b></p> <p>●公民館(支館を含む)の設置については、当該施設の意義と地域のバランスを考慮しな</p>

がら、市の公共施設等マネジメント計画に示されている「利用実態に合わせた適正配置（広域的な視点も考慮）」や「コミュニティ施設への転換と複合化」、また利用しやすい安心安全な施設の整備に努めて頂きたい。

- 図書館運営事業については、コロナ禍にあっても図書館として出来ることを事業展開することで図書の貸出冊数の増加につなげていたことは評価できる。ブックスタート事業についても平成14年からの継続事業として、努力されている。引き続き、事業の継続を期待する。
- 従来の図書館とは異なり単に数多くのコレクション（蔵書）を揃えるだけではなく、面置き配置やポップを付ける等利用者の方が手に取りやすいようにゆったりとした開架書棚にするなどの工夫をしていると考える。社会教育の中核施設である図書館は、様々な方が利用するため、多様なニーズに答えていく責務があると考えます。昨年度は143冊の寄贈があったが、年々予算が削減される現状にあっては新規購入のみならず蔵書数や選書基準・除籍基準に適合する図書の寄贈を効率的に受け付けることで補っていく必要があると考えるので、図書寄贈の受入環境を充実して頂きたい。

No. 18	施策の方向	生涯学習情報の提供		担当課・担当						
				生涯学習課 ・社会教育担当						
施策の内容	マナビィガイドや生涯学習WEBを拡充し、事業の紹介など情報を提供し、新しい生涯学習のファンの開拓に努めます。また、生涯学習施設を拠点とした「機会提供型の生涯学習」に加え、自らのテーマやライフスタイルに応じて「自ら学ぶ生涯学習」を推進できるよう生涯学習人材バンクの拡充に努めます。									
事業名 及び 事業費	事業名 ・生涯学習情報提供事業（政策）	令和3年度決算額 417千円	令和4年度予算額 -							
<p><b>【令和3年度取組内容】</b></p> <p>・生涯学習情報提供事業</p> <p>情報版（A4両面） 事業の紹介等 年2回 講座版（A3両面） 講座の募集等 年2回</p> <p>出来る限り新鮮な情報を、生涯学習課内の館、係を跨いで横断的に情報を掲載できるよう努めた。封筒やチラシ、通知文などにホームページのQRコードをつける等、ホットな話題をリアルタイムにSNSで発信した。</p> <p>○HP実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>更新回数（目標200回）</th> <th>閲覧回数（目標10,000回）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>111</td> <td>37,393</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、生涯学習推進人材バンクについては、地域の一芸に秀でた人材を登録し、市民の求めに応じ講師を紹介した。</p>					年度	更新回数（目標200回）	閲覧回数（目標10,000回）	令和3年度	111	37,393
年度	更新回数（目標200回）	閲覧回数（目標10,000回）								
令和3年度	111	37,393								
<p><b>【課題・今後の対応】</b></p> <p>・生涯学習情報提供事業</p> <p>市民の学習活動につながるよう、SNSやオンラインなどを活用した情報提供の充実や情報の質の向上を図っていく必要がある。また、生涯学習推進人材バンクについては、自己申請だけではなく、有望な人をスカウトし、売り込むなど、利用件数の向上を目指した仕掛けをしていく必要がある。</p>										
<p><b>【目標達成状況の内部評価】</b></p> <p><input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった</p> <p><input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった</p>										
<p><b>【その他】</b></p>										
<p><b>【点検・評価委員の意見】</b></p> <p>●生涯学習情報の提供について、新鮮な情報を、封筒やチラシ・通知文などにホームペー</p>										

ジの二次元コードをつけ、ホットな話題をリアルタイムにSNSで発信し、37,000回の閲覧があり目標の3倍であったことは大変評価できる。一方で、ばらつきのあるナビガイドの講座受講申込方法の統一化を図って頂きたい。

- 専門的知識・技能のある市民や、SNSによる情報発信をしている方（草刈り、消毒、日曜大工、庭造り、家庭菜園など）を人材バンクに登録し、市民の学習ニーズに応じて派遣できる仕組みの充実を期待する。

No. 19	施策の方向	スポーツ・レクリエーション活動の推進		担当課・係
				スポーツ振興課 ・スポーツ振興担当
施策の内容	<p>健康寿命の延伸、青少年の健全育成、地域コミュニティの活性化など現状や目的に対応した「スポーツのある生活」が実現できる体制づくり、システムづくりを推進します。また、スポーツイベントやスポーツ教室の開催や総合型地域スポーツクラブなどとの連携により、誰もが気軽にスポーツに親しめる機会を提供します。</p> <p>さらには、指導者の育成を図りながらスポーツ団体の育成強化に努め、各種事業や団体活動との連携強化を図ります。</p>			
事業名 及び 事業費	事業名		令和3年度決算額	令和4年度予算額
	・かすみがうらマラソン大会開催事業（政策）		0千円	3,000千円
	・市民ふれあいスポーツ推進事業		1,149千円	933千円
	・市民ふれあいスポーツ推進事業（政策）		530千円	2,623千円
<p>【令和3年度取組内容】</p> <p>・かすみがうらマラソン大会開催事業 土浦市との共催事業である第31回かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン大会については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い開催は中止となりました。</p> <p>・市民ふれあいスポーツ推進事業 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、親子ランニング教室は開催となりましたが、その他の事業（市民ふれあいスポーツフェア、市民マラソン大会、ふれあいサイクリング、カヌー体験教室、水泳教室等）は中止となりました。</p> <p>地域の方々に身近なスポーツ施設を提供することを目的とした学校体育館開放事業においても、新型コロナウイルス感染症の拡大により社会体育施設の閉館に加え、部活動中止に併せた閉館もあり、年間を通じた活用はできませんでした。</p>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <p>市民がスポーツに親しめる環境づくりを推進するため、スポーツ協会をはじめ、総合型スポーツクラブ、スポーツ推進員など関係各機関と連携し、今後は新型コロナウイルス感染症対策の十分な安全衛生対策を講じて事業を実施する必要があります。</p>				
<p>【目標達成状況の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった</p>				
<p>【その他】</p>				
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <p>●スポーツ・レクリエーション活動の推進事業が、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴</p>				

い開催がすべて中止になり残念だが、感染症対策の十分な安全衛生対策を講じて事業を実施できるように考えていたことは評価できる。

- 親子ランニング教室が開催されたことは、気軽に親しめる機会の提供として評価できる。
- 健康寿命の延伸、市民の健康づくりに寄与する事業の推進、また、青少年健全育成、地域コミュニティの活性化等に貢献している市民ふれあいスポーツフェアやふれあいサイクリング事業、総合型地域スポーツクラブ事業などは継続して頂きたい。
- 関係部署と連携を図り、地域のスポーツ資源を生かして市民スポーツ振興と地域への愛着増進のほか、移住・定住の促進につながる施策の推進を期待する。

No. 20	施策の方向	スポーツ・レクリエーション 施設の利用促進	担当課・係	
			スポーツ振興課 ・スポーツ振興担当 ・施設維持管理担当	
施策の内容	<p>スポーツ施設の効果的・効率的な活用を促進し、様々なスポーツの需要に対応します。また、オンライン予約システムの活用など施設環境の質的向上に努め利用を促進します。</p> <p>また、地域に根差したスポーツ団体に施設を提供することとして、学校体育施設の利用を推進します。</p>			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・ 体育センター管理運営事業	1,439千円	1,791千円	
	・ わかぐり運動公園管理運営事業	19,741千円	29,447千円	
	・ 多目的運動広場管理運営事業	22,657千円	27,250千円	
	・ 戸沢公園運動広場管理運営事業	11,324千円	11,437千円	
	・ 第1常陸野公園管理運営事業	131,828千円	34,206千円	
	・ 体育センター管理運営事業(政策)	3,498千円	-	
	・ (仮称)スポーツ公園管理運営事業	495千円	23,364千円	
<p><b>【令和3年度取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各体育施設管理運営事業 市内各体育施設につきましては、定期的な巡回を行い施設状況の把握を行い、市民が安心・安全にスポーツを楽しめる環境づくりに努めました。</li> <li>体育センター管理運営事業（政策） 体育センターの機能向上及び避難施設としての機能強化を検討するとともに、隣接する旧保健センターを一体的に利用することを目的として、施設の有効利用の検討調査を実施しました。</li> <li>(仮称)スポーツ公園管理運営事業 第2常陸野公園の借地部分の買取りを進めるべく、土地の鑑定調査を実施しました。 (各施設の主な工事)</li> <li>わかぐり運動公園管理運営事業 テニスコート脇外トイレの洋式化工事を実施しました。</li> <li>戸沢公園運動広場管理運営事業 芝生広場内にトイレ増設工事を実施しました。</li> <li>第1常陸野公園管理運営事業 老朽化した管理センターの解体工事を実施しました。 テニスコート張替え工事を実施しました。</li> </ul>				
<p><b>【課題・今後の対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各体育施設管理運営事業 簡易な修繕についてはその都度対応しているものの、全体的に老朽化が進んでおり、修</li> </ul>				

繕に多額の費用を要する箇所も見受けられることから、年次的、計画的に修繕を進めていく必要があります。また、公共施設の借地解消に向け、地権者との協議を進めていきます。

・体育センター管理運営事業（政策）

旧保健センター・体育センターリニューアル活用調査に基づき、庁内においてスポーツをはじめ他の用途としての活用についても検討を重ね今後の方向性を明確化していきます。

・(仮称)スポーツ公園管理運営事業

活用構想としては、これまでの利用状況を踏まえつつ、ファミリー層をはじめ、子どもからお年寄りまで世代を問わずスポーツを楽しめる一体的なエリアとしての活用を計画し、さらなる魅力的な空間づくりを行うことで、市内外を問わず多くの方が訪れる憩いの場づくりを目指すとしていますが、今後の予定を進める前に、スポーツ公園以外の用途としての活用も含め、施設の方向性を検討する必要があります。

【目標達成状況の内部評価】

- A. 目標よりも大きな成果が得られた
- B. 概ね目標の成果が得られた
- C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった
- D. 目標とする成果が得られなかった

【その他】

【点検・評価委員の意見】

- 借地料が多額となっているので、必要な施設の借地の買取りを計画的に進めて頂きたい。
- 旧保健センター・体育センターリニューアル活用調査結果を生かした、スポーツ機能と避難所機能が充実した施設となることを期待する。
- 老朽化した施設の計画的な修繕や廃校の体育施設等の暫定的な市民利用の機会を確保して頂きたい。

No. 21	施策の方向	スポーツ・レクリエーション 団体の育成		担当課・係
				スポーツ振興課 ・スポーツ振興担当
施策の内容	スポーツ推進員と連携して、指導の強化や組織の育成を図ります。 さらには、スポーツを通して青少年の健全育成を図るスポーツ少年団の活動を支援するとともに、体育協会やその加盟団体などの自主的な活動を支援します。			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・スポーツ団体育成事業	3,662千円	3,522千円	
	・スポーツ団体育成事業（政策）	2,608千円	4,240千円	
【令和3年度取組内容】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ団体育成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 体育協会各部主催大会の開催支援 体育協会加盟団体（21団体）及びスポーツ少年団各部（8団体）に対して、各種イベントの共催、補助金の交付等により市長杯大会等の委託を行ったが、新型コロナウイルスの関係で一部事業の縮小及び中止となりました。</li> <li>② スポーツ推進委員の育成と連携 スポーツ推進委員と連携協力をし、スポーツ推進のため各種事業を実施するとともに、住民に対するスポーツの実技指導及び助言を行いました。</li> </ul> </li> </ul>				
【課題・今後の対応】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ団体育成事業 スポーツ協会補助金等について、各団体の運営状況を把握し、補助金の適正な交付に努めるほか、スポーツ推進委員の育成を図ることで、本市のさらなるスポーツ振興を図っていきます。</li> </ul>				
【目標達成状況の内部評価】				
<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった <input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった				
【その他】				
【点検・評価委員の意見】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 体育協会加盟団体及びスポーツ少年団に対し、各種イベントの共催や適正な補助金交付を行い自主的な活動を支援することで、子どもから高齢者に至るまでの幅広い年齢層に広くスポーツに親しむ場を提供する体制を維持していることは評価できる。</li> <li>● スポーツの振興を図るために重要な役割を果たすスポーツ推進委員は、市外からの指導者募集・誘致などを含め、計画的な育成を図る必要がある。</li> </ul>				

#### 4 地域文化の継承と創造

No. 22	施策の方向	文化財などの伝承と保護・活用	担当課・係	
			生涯学習課 ・文化振興担当 ・歴史博物館	
施策の内容	市の歴史、文化に関する資料、情報などの調査、収集、整理、保存、研究、活用や重要な文化財に対しては指定化を図ります。埋蔵文化財については、常に現状を掌握し、適正な保護、管理、公開に努めます。			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・富士見塚古墳公園管理運営事業	5,444千円	5,950千円	
	・文化財保護事業	352千円	10,288千円	
	・文化財保護事業（政策）	2,225千円	-	
	・埋蔵文化財事業	3,792千円	5,679千円	
	・帆引き船保存活用対策事業（政策）	1,578千円	3,009千円	
	・歴史博物館管理運営事業	11,574千円	18,825千円	
	・歴史博物館管理運営事業（政策）	4,317千円	-	
・ジオパーク推進事業（政策）	1,165千円	1,806千円		
【令和3年度取組内容】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士見塚古墳公園管理運営事業 富士見塚古墳公園及び展示館はシルバーに受付、清掃、庭園管理を委託した。 コロナ感染拡大防止のため「富士見塚古墳フェスタ」は中止した。</li> <li>・文化財保護事業 国指定文化財椎名家住宅各種補助事業、出島のシイ延命対策事業、成井ばやし保存会等民俗芸能伝承事業、指定文化財等公開管理事業、文化財案内看板修繕（中根長者屋敷）・（出島のシイ）、新規案内看板（宝蔵院 阿弥陀如来像）の設置、文化財保護審議会事業等を行った。 また、椎名家住宅管理事業については、活用事業の実施を条件に市民学芸員の会へ清掃等を委託した。しかし、活用事業（お茶会、昔遊び、和の祭典等）は新型コロナウイルス感染防止のために中止となった。 市内外の方へ文化財の関心を高めるため実施している「指定文化財一斉公開事業」については、ツアー形式（穴倉城周辺及び志筑陣屋周辺）で行った。</li> <li>・埋蔵文化財事業 埋蔵文化財の照会申請に伴い現地調査、試掘調査、回答書の作成をし、年間の埋蔵文化財事業を調査報告書としてまとめた。</li> <li>・帆引き船保存活用対策事業 平成27年度に設立された「霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会」と市民協働の関係で、①帆引き船操業者の後継者育成 ②県指定、国指定無形民俗文化財へ向けた調</li> </ul>				

査・研究 ③各種普及活動の支援に取り組んだ。

令和元年に立ち上がった「霞ヶ浦の帆引き網漁の技術」総合調査委員会にて、諸会議、北浦地区の帆引き船操業者の聞き取り調査、大阪大学との協同で風洞実験、張力計をつけた実験等を実施した。

・歴史博物館管理運営事業

特別展1回 『医聖二代 古宇田信近・倣太郎』、企画展2回 『新時代への夜明け』、『好古家 長谷川愛石』を実施した。特別展・企画展に合わせた講演会などの催しの開催や図書（マンガ、解説書）の制作・発行、ふるさと教育に係る各種講座の開講（11講座35回 参加延人数660人）をした。

市民学芸員の養成及び支援、出前博物館（市内1回）、歴史資料の収集、保存、整理、歴史博物館運営協議会・民俗資料調査員会議を開催した。

わたしたちの郷土（小中学生の歴史研究）は、251点の応募があり、代表する15点を掲載した34号を500部発行した。

・ジオパーク推進事業

筑波山ジオパークの普及啓発として、講座（7回91人）を実施し、PRグッズ、教材としてうちわ、PRチラシ、野帳、地形図などを制作した。ジオパーク関東ブロック大会（浅間山北麓）は新型コロナウイルスの関係で延期となったが、同研修会（箱根）、全国大会（島根半島）については、リモートで開催され、聴講、参加した。

【課題・今後の対応】

・文化財保護事業

当市の文化財を活用した地方創生を推進するために、『文化財保存活用地域計画』を早急に作成する。風返稲荷山古墳出土品の国指定重要文化財化について、令和4年度中を目標に、文化庁と調整を図る。

・埋蔵文化財事業

埋蔵文化財等の出土品の保管場所として、旧安飾小学校が収蔵施設となったが、収蔵した資料は未整理のため、考古資料として収蔵資料の整理・活用を進めていく。

・帆引き船保存活用対策事業

「霞ヶ浦の帆引網漁の技術」総合調査の内容充実、県指定無形民俗文化財の指定に向けて調整及びそれに係る調査研究の実施、帆引き船操業後継者の育成の強化をはじめとした保存会活動への支援をしていく。

・歴史博物館管理運営事業

当市の歴史、文化に関わる事柄の調査研究や各種史料の収集、保存、整理、調査研究などを推進するとともに、それらを展示や講演会、講座等という形で情報発信する。そのため情報・資料を収集し、市民学芸員の会と協力する体制を維持、拡充することで、歴史博物館の機能を高めていく。昭和62年の開館以来、30年以上経過し、施設の老朽化が進行しているため、リニューアルを検討していく。

現在、観光ガイド的役割も担う市民学芸員の需要に市民学芸員の養成が間に合っていない現状がある。

<p>・ジオパーク推進事業</p> <p>ジオパークをかすみがうら市の目玉事業として地域活性化を図っていくために、数多く普及機会を設けると共に、積極的に観光や地方創生事業と連携し、魅力的な事業を展開していく必要がある。</p>
<p>【目標達成状況の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった</p> <p><input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった</p>
<p>【その他】</p>
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <p>●「文化財保存活用地域計画」については、速やかに作成していただくとともに、計画を確実に実行できるよう会計年度任用職員等の配置や市民学芸員の確保も検討して頂きたい。</p> <p>●埋蔵文化財事業については、現地調査・試掘調査・回答書の作成をし、年間の埋蔵文化財事業調査報告書をまとめたことは評価できる。埋蔵文化財の記録・保存は開発行為との関係もあり、速やかに実施できる体制（市外ボランティア等）の整備が必要であり、貴重な史料を後世に伝えるためにも計画的整理に取り組み、適時市民に公開していくことを期待する。</p> <p>●帆引き船保存活用対策事業について、平成27年度に設立された「霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会」・令和元年に立ち上げた「霞ヶ浦の帆引き網漁の技術」総合調査委員会が、県指定無形民俗文化財の指定に向けて計画的に活動していくことを期待する。</p> <p>●ジオパークについては、市内小学校への「出前授業」など魅力的な事業は継続してゆき、市内ジオサイトの「歩崎」に関しては環境整備を実施して頂きたい。</p>

No. 23	施策の方向	ふるさと教育の推進	担当課・係	
			生涯学習課	・歴史博物館
施策の内容	市民学芸員など市民の協力の下、展示会、講座、体験教室、歴史書物、の刊行など、様々なふるさと教育を推進していきます。			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・歴史博物館管理運営事業	11,574千円	18,825千円	
	・歴史博物館管理運営事業（政策）	4,317千円	-	
<p>【令和3年度取組内容】</p> <p>・歴史博物館管理運営事業</p> <p>特別展1回『医聖二代 古宇田信近・倣太郎』、企画展2回『新時代への夜明け』、『好古家 長谷川愛石』を実施した。特別展・企画展に合わせた講演会などの催しの開催や図書（マンガ、解説書）の制作・発行、ふるさと教育に係る各種講座の開講（11講座35回 参加延人数660人）、市民学芸員の養成及び支援、出前博物館（市内外1回）、歴史資料の収集、保存、整理、歴史博物館運営協議会・民俗資料調査員会議の開催、『私たちの郷土』事業（小中学生の郷土研究）は、第34号を発行した。</p>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <p>・歴史博物館管理運営事業</p> <p>当市の歴史、文化に関わる事柄の調査研究や各種史料の収集、保存、整理、調査研究などを推進するとともに、それらを展示や講演会、講座等という形で情報発信する。そのため情報・資料を収集し、市民学芸員の会と協力する体制を維持、拡充することで、歴史博物館の機能を高めていく。昭和62年の開館以来、30年以上経過し、施設の老朽化が進行しているため、リニューアルを検討していく。</p> <p>現在、観光ガイド的役割も担う市民学芸員の需要に市民学芸員の養成が間に合っていない現状がある。</p>				
<p>【目標達成状況の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった</p> <p><input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった</p>				
<p>【その他】</p>				
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <p>●特別展・企画展、講演会、講座については、今後も市民等に向けて、ふるさと教育の視点で継続して進めて頂きたい。</p> <p>●「私たちの郷土」事業（小中学生の郷土研究）は、郷土への愛着や誇りが醸成できるので続けて頂きたい。</p> <p>●歴史博物館のリニューアルにより、市の魅力がより効果的に発信できることを期待す</p>				

る。

- 市民学芸員との協力体制の維持・拡充やSNSの積極的な活用などの取り組みを進めることで、歴史博物館の機能をより一層高めていくことを期待する。

No. 24	施策の方向	芸術・文化活動の推進	担当課・担当	
			生涯学習課	・社会教育担当
施策の内容		文化協会及び加盟団体を支援し、市民の芸術文化活動を推進させ、文化活動のサークル活動の活性化を図ります。		
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・文化芸術振興事業（政策）	548千円	1,215千円	
<p>【令和3年度取組内容】</p> <p>・文化芸術振興事業</p> <p>文化協会の各種事業の支援及び補助金の交付を行ったが、新型コロナの影響により、活動を制限するなど活動が出来ない団体があった。また、月例展示会など、活動の発表や作品の展示の場を設けた。</p> <p>文化団体数や会員数が減少傾向にあるため、会員増員のため、文化団体自主講座開講の支援を行った。</p>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <p>・文化芸術振興事業</p> <p>文化団体の推進に寄与するため、課内で連携するとともに、また、文化団体の作品等の発表・展示場所をさらに設けるなど、活躍の場を提供できるよう工夫する。</p> <p>今後も、公民館ではサークル化を念頭に置いた講座を開講し、文化団体の増加に努める。</p>				
<p>【目標達成状況の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった</p> <p><input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった</p>				
<p>【その他】</p>				
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <p>●文化団体の自主講座開講は、会員増員のために有効であった。さらに活動が充実するよう、展示や発表の場の支援をして頂きたい。</p> <p>●文化団体や会員の高齢化や減少が進んでいるため、継続的な財政支援のほか、SNSを活用した新しい方法なども含め会員募集を積極的に進めて頂きたい。</p>				

No. 25	施策の方向	観光との連携	担当課・係	
			生涯学習課 ・文化振興担当 ・歴史博物館	
施策の内容	文化財や文化的景観を観光資源として有効活用するとともに、観光客に対応できる文化財体験プログラムの整備と市民学芸員や観光ボランティアなどの人材育成に取り組みます。			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・富士見塚古墳公園管理運営事業	5,444千円	5,950千円	
	・歴史博物館管理運営事業	11,574千円	18,825千円	
	・歴史博物館管理運営事業（政策）	4,317千円	-	
	・ジオパーク推進事業（政策）	1,165千円	1,806千円	
	・帆引き船保存活用対策事業（政策）	1,578千円	3,009千円	
【令和3年度取組内容】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士見塚古墳公園管理運営事業 富士見塚古墳公園及び展示館はシルバーに受付、清掃、庭園管理を委託。 コロナ感染拡大防止のため「富士見塚古墳フェスタ」は中止した。</li> <li>・歴史博物館管理運営事業 特別展などの展覧会や市民学芸員養成講座など各種かすみがうら市の魅力を発信する事業を実施した。</li> <li>・帆引き船保存活用対策事業 平成27年度に設立された「霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会」と市民協働の関係で、①帆引き船操業者の後継者育成 ②県指定、国指定無形民俗文化財へ向けた調査・研究 ③各種普及活動の支援に取り組んだ。 令和元年に立ち上がった「霞ヶ浦の帆引き網漁の技術」総合調査委員会にて、諸会議、北浦地区の帆引き船操業者の聞き取り調査、大阪大学との協同で風洞実験、張力計をつけた実験等を実施した。</li> <li>・ジオパーク推進事業 筑波山ジオパークの普及啓発として、講座（7回91人）を実施し、PRグッズ、教材としてうちわ、PRチラシ、野帳、地形図などを制作した。ジオパーク関東ブロック大会（浅間山北麓）は新型コロナウイルスの関係で延期となったが、同研修会（箱根）、全国大会（島根半島）については、リモートで開催され、聴講、参加した。</li> </ul>				
【課題・今後の対応】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士見塚古墳公園管理運営事業 観光との連携を密にし、桜や景観など、今後も観光客のニーズに対応した事業展開を目指す。</li> <li>・歴史博物館管理運営事業 老朽化した施設を改善するため、リニューアルを検討していく。</li> </ul>				

<p>・帆引き船保存活用対策事業</p> <p>「霞ヶ浦の帆引網漁の技術」総合調査委員会が令和元年度に設立され、令和5年度には報告書が刊行される計画である。同時進行で、県・国指定に向けた調査研究・活動を行う必要がある。</p> <p>・ジオパーク推進事業</p> <p>ジオパークをかすみがうら市の目玉事業として地域活性化を図っていくために、数多く普及機会を設けると共に、積極的に観光や地方創生事業と連携し、魅力的な事業を展開していく必要がある。</p>
<p>【目標達成状況の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった</p> <p><input type="checkbox"/> D. 目標とする成果が得られなかった</p>
<p>【その他】</p>
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <p>●帆引き船については、後継者育成を市職員も対象とするなどして、計画的に育成する方法をとるとともに、各種事業を市民協働、周辺都市との連携を継続的に行って頂きたい。</p> <p>●ジオパーク推進事業など複数の自治体との共同で実施している事業は難しい点もあると思料されるが、継続した地道な活動が必要である。</p> <p>●文化財や文化的景観は観光資源としてのみならず、移住の動機付けともなり得るものであるので、関係部局と連携して情報発信できる市民の育成を早急かつ着実に取り組み、SNSによる行政と市民による観光・文化資源の情報発信を拡充・強化する事業を進めていくことを期待したい。</p>

## 5 市民活動の支援

No. 26	施策の方向	コミュニティ活動の推進	担当課・係	
			生涯学習課 ・霞ヶ浦中地区公民館 ・千代田中地区公民館 ・下稲吉中地区公民館	
施策の内容	地域の財産や課題をキーワードに、地区公民館を主体とした市民協働型のコミュニティ活動を通して、魅力ある地域づくりを推進するとともに、地域の担い手の発掘、育成に努めます。			
事業名 及び 事業費	事業名	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
	・霞ヶ浦中地区公民館コミュニティ活動事業（政策）	2,804千円	6,495千円	
	・千代田中地区公民館コミュニティ活動事業（政策）	1,150千円	2,003千円	
	・下稲吉中地区公民館コミュニティ活動事業（政策）	942千円	2,855千円	
【令和3年度取組内容】				
<p>・公民館コミュニティ活動事業</p> <p>三つの中学校区において、行政が準備したものに市民が参加するという従来の形ではなく、地区の財産や課題をテーマに、地域のリーダーであるコミュニティ推進委員が中心となって、地区住民自らが企画運営する独自の特色ある公民館コミュニティ事業を市民協働の関係で事業展開を試みたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止を余儀なくされ、多くの事業が実施できなかった。</p> <p>①霞ヶ浦中地区公民館 ⇒参加延べ人数132人 グラウンド・ゴルフ大会、合同歩く会、いってみっかサロン</p> <p>【新型コロナウイルスの感染拡大により中止を余儀なくされた事業】 球技大会、移動講座、ハイキング、下大津桜まつり、牛渡まつり、防災講座、歩く会（牛渡支館、志士庫支館）など</p> <p>②千代田中地区公民館 ⇒参加延べ人数1,448人（3中地区合同研修含む） 防災体験キャラバン、交流サロン「ちよだ広場（毎週木曜・日曜）、歴史とジオのサロン講座（10回）」、ちよだ落語会、千代田中・下稲吉中地区公民館共催事業（ハイキング・講演会）、ミニハイキング（中止）、ペタンク体験会（中止）、音楽鑑賞会（中止）、移動学習会（中止）、料理教室（中止）</p> <p>③下稲吉中地区公民館 ⇒参加延べ人数173人（3中地区合同研修含む） 交流サロン「おしゃべりカフェ（月4回）」、コミュニティ推進委員研修会（ZOOM・出前講座）、千代田中・下稲吉中地区公民館共催事業（ハイキング・講演会）、みんなの夏まつり（中止）、移動学習会（中止）、視察研修（中止）、体験型文化祭（中止）、コロナに負けるなコンサート（中止）</p> <p>④3中地区公民館合同（研修会） ⇒参加人数34人（霞ヶ浦中地区16人、千代田中地区6人、下稲吉中地区12人） 歴史探訪</p>				

**【課題・今後の対応】**

・公民館コミュニティ活動事業

霞ヶ浦中地区においては、ライフスタイルや地域コミュニティに対する考え方の多様化に加え、コミュニティの場の拠点となっていた小学校の統廃合により、球技大会や歩く会など、支館単独での事業実施が困難であるため、合同で実施している事業も出てきている。一方、下大津桜まつり、牛渡まつり、防災講座、いってみっかサロンなど、支館（地区）独自の企画がコミュニティ推進委員主導で実施されており、今後も継続していきたい。また、コロナ禍での新たなコミュニティ事業の展開も必要となる。

千代田中地区・下稲吉中地区においては、コミュニティ推進委員自身が地域のリーダーとなり、何を行い、どう働きかけていくかを具現化し、コロナ禍の中できる事を模索しながら直前まで企画準備に力を注いだ。中止や延期となった事業がほとんどであった。今後は「コミュニティだより」の定期発刊など広報活動や、コロナ禍に意識を置きながらの事業展開など新たな事業を実施していきたい。

**【目標達成状況の内部評価】**

- A. 目標よりも大きな成果が得られた
- B. 概ね目標の成果が得られた
- C. 目標どおり進んでいるが、一部達成できなかった
- D. 目標とする成果が得られなかった

**【その他】**

**【点検・評価委員の意見】**

- 公民館事業は、市民協働事業の中核となるものなので、市民の自主活動への継続的な行政支援をして頂きたい。
- コロナ禍であってもコミュニティ推進委員が中心となって1, 153人が事業に参加できたことは成果である。コミュニティ活動が活発となる企画ができるよう、情報提供・支援を期待する。
- 拠点となる地区公民館の整備を進める一方で、地域活動を継続している地域コミュニティの維持・活性化には是非とも必要な事業であるので、行政による継続した活動支援をして頂きたい。
- 3中地区公民館で、地域のリーダーであるコミュニティ推進委員が中心となり進めたコミュニティ活動事業はコロナ禍で中止となったが、企画したものは次年度につながることから今後を期待する。

## 第4章 学識経験者からの意見

### 1 学校教育課に対する意見

- かすみがうら市小中学校適正規模化実施計画に基づき、計画通り5つの小中学校統合を令和3年度中に完了し、令和4年度の千代田義務教育学校開校へ至ったことは評価できる。尽力された開校準備委員会や運営検討委員会、職員など関係者の方々の努力に敬意を表したい。
- ICT機器の活用は、オンライン授業も含め、学力向上はもとより、コロナ禍や長期欠席に伴う児童生徒の学習の遅れへの対処にも有効である。今後も一層の展開や、情報モラルを含めた総合的な情報活用能力が育つよう、ICT機器の計画的整備が図られることに期待する。また、併せて外部講師等の派遣や教職員の研修により、デジタル教科書の有効活用を含めICT教育に係る質の向上を図って頂きたい。
- 予定通り第4期教育振興基本計画が策定されたことは、嬉しいかぎりである。関係機関の連携協力のもと、同計画で示された施策等が各種基準を準拠した進行管理の下、推進されることを期待する。

### 2 生涯学習課に対する意見

- 家庭教育学級は、保護者の子育てへの気付きとネットワークづくりにつながるため、市内全ての幼児教育施設で開催ができるように支援していただきたい。
- 地域の担い手の育成対策として、中学生のジュニアリーダー、高校生会、二十歳の集い実行委員会、子ども会指導者、大人クラブへと連続参加する流れを確立し、継続的な支援が図られることに期待する。
- コロナ禍により不特定多数の参加者が集まることが困難な中、生涯学習イベント「ふれあい生涯学習フェア2021」のオンライン開催や、歴史博物館の通年講座ができたことは評価できる。今後はSNSを更に活用した各種事業の展開を図って頂きたい。

### 3 スポーツ振興課に対する意見

- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い市民参加型の事業が多く中止になったが、市民の健康づくりに寄与する事業の推進、また、青少年健全育成、地域コミュニティの活性化等に貢献している市民ふれあいスポーツフェアやふれあいサイクリング事業、総合型地域スポーツクラブ事業など、今後も継続してほしい。
- 体育協会加盟団体及びスポーツ少年団に対し、各種イベントの共催や適正な補助金交付を行い自主的な活動を支援することで、子どもから高齢者に至までの幅広い年齢層に広くスポーツに親しむ場を提供する体制を継続していることは評価できる。
- 各種の体育施設が有用かつ効率的に活用されることを期待する。

### 4 点検結果

- コロナ禍2年目で実施できない事業もあったが、感染症対策をとりながら創意工夫して事業に取り組み、昨年度の点検事項を施策に反映し、市民の教育活動に展開していることは評価できる。
- 市教育振興基本計画及び市生涯学習推進計画（スポーツ振興を含む）を踏まえて、望ましい社会の変化に応じた事業の改善を随時図り、市民の負託に応える教育行政の遂行に取り組むことを期待する。